

## ア. 平成 29 年度事業の報告

# 平成 29 年度事業報告

平成 29 年度事業の結果を次のとおり報告します。

## I 組織の概要

### 1 名称

公益社団法人 静岡県建築士会

### 2 建築士会の責務（建築士法第 22 条の 4 第 1 項）

その名称中に建築士会という文字を用いる一般社団法人は、建築士の品位の保持及びその業務の進歩改善に資するため、社員の指導及び連絡に関する事務を行うことを目的とし、かつ、建築士を社員とする旨の定款の定めがあるものでなければならない。

### 3 設立・組織・規模

- (1) 目的 建築士の品位の保持と技術の向上及びその業務の進歩改善を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。
- (2) 設立 昭和 26 年 11 月 25 日
- (3) 法人認可 昭和 27 年 6 月 12 日
- (4) 会長 佐藤博行
- (5) 役員 理事 16 人（定数：15 人以上 20 人以内）  
会長 1 人、副会長 3 人、常務理事 3 人、理事 9 人  
監事 4 人（定数：3 人以上 5 人以内）
- (6) 組織 本会、3 ブロック及び 15 地区で構成
- (7) 会員数 正会員 1,190 名、賛助会員 157 社、計 1,347 名（H30. 3.31 現在）

### 4 特記事項

国の公益法人制度改革により、本会は、平成 20 年 12 月 1 日から特例民法法人として存立してきたが、この間、公益社団法人移行への検討、準備を進め、平成 24 年 4 月 1 日付で公益社団法人静岡県建築士会として設立された。

- (1) 平成 23 年 9 月 29 日 臨時総会にて公益社団法人静岡県建築士会定款(案)を承認
- (2) 平成 23 年 12 月 27 日 静岡県知事に公益社団法人移行認定書を提出
- (3) 平成 24 年 3 月 23 日 静岡県公益認定等審議会が認定処分相当の答申
- (4) 平成 24 年 3 月 27 日 静岡県知事から公益社団法人移行認定書が交付

## II 本会

### A 会議

#### 1 総会

(1) 定時総会 29.6.9(金)

会場 静岡グランドホテル中島屋

- ア. 平成 28 年度事業の報告
- イ. 平成 28 年度収支決算（計算書類）の承認の件
- ウ. 平成 29 年度事業計画の報告
- エ. 平成 29 年度収支予算の報告
- オ. 理事の選任の件

#### 2 理事会（7回）

(1) 第1回 29.5.17(水)

- ア. 新入会員の承認について
- イ. 平成 28 年度事業報告及び財務諸表について
- ウ. 理事の辞任及び選任について
- エ. 平成 29 年度定時総会に付議すべき事項の決定について
- オ. 平成 29 年度定時総会について
- カ. 平成 29.30 年度倫理委員会委員について
- キ. 平成 29 年度事務局職員事務分掌について

(2) 第2回 29.6.9(金)

- ア. 常務理事の選定について

(3) 第3回 29.7.19(水)

- ア. 新入会員の承認について
- イ. 平成 28 年度収支決算における余剰金に扱いについて
- ウ. 平成 29 年度 7 月補正予算について
- エ. 平成 30.31 年度会長候補選考委員会の設置について

(4) 第4回 29.9.20(水)

- ア. 新入会員の承認について
- イ. 平成 30.31 年度会長候補選考委員会委員の承認について
- ウ. 平成 30.31 年度専攻建築士審査評議会評議員の承認について

(5) 第5回 29.11.15(水)

- ア. 新入会員の承認について
- イ. 木造住宅の耐震推進化セミナーについて
- ウ. 平成 29 年度 11 月補正予算について

(6) 第6回 30.1.17(水)

- ア. 新入会員の承認について
- イ. 平成 29 年度当初予算編成について
- ウ. 平成 30.31 年度会長候補選考委員会の選考結果について

(7) 第7回 30.3.14(水)

- ア. 新入会員の承認について

- イ. 平成 30 年度事業計画（案）について
- ウ. 平成 30 年度当初予算（案）について
- エ. 平成 30.31 年度役員候補者の推薦について

#### 3 監査会（2回）

(1) 第1回 29.5.8(月)

- ア. 平成 28 年度主要事業及び一般会計の決算監査  
(監事 4 名、会長・副会長)

(2) 第2回 29.11.2(金)

- ア. 平成 29 年度主要事業及び一般会計の中間監査  
(監事 4 名、会長・副会長)

### B その他の会議

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 1 総務会           | (11 回) |
| 2 予算委員会         | (4 回)  |
| 3 機構・委員会等       |        |
| (1) 会員厚生委員会     | (2 回)  |
| (2) 事業研修委員会     | (2 回)  |
| (3) 青年企画委員会     | (3 回)  |
| (4) 広報情報委員会     | (12 回) |
| (5) 景観・まちづくり委員会 | (6 回)  |
| (6) しずおか木造塾委員会  | (6 回)  |
| (7) 試験機構        | (6 回)  |
| (8) 地震関連業務受託機構  | (1 回)  |

## C 公益目的事業等の活動

### 1 建築士資格付与・資質向上事業（公益目的事業1）

#### (1) 建築士試験・登録事務等

##### ア. 建築士試験及び合格者の名簿登録等の事業

建築士法に基づき建築士の資格の付与のための資格審査、試験等の業務及び指定登録機関として、合格者の名簿登録、免許証交付等の業務を適正、確実に処理する。

(ア) 一級建築士・二級建築士・木造建築士の試験業務受託

(イ) 一級建築士等の登録申請受付業務

(ウ) 二級・木造建築士の登録・閲覧に関する業務

#### ① 建築士試験業務

##### ・二級建築士・木造建築士 申込受付業務

29. 4. 20（木）～4. 24（月）

会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

受付会場申込人数 二級 374名、木造 10名（合計 723名）

（インターネット申込人数 二級 299名、木造 8名）

（郵送申込人数 二級 31名、木造 1名）

##### ・一級建築士 申込受付業務

29. 5. 11（木）～5. 15（月）

会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

受付会場申込人数 一級 176名（合計 851名）

（インターネット申込人数 一級 559名）

（郵送申込人数 二級 116名）

##### ・二級建築士 学科試験業務

29. 7. 2（日）

会場 静岡県立静岡城北高校

実受験者数 481名

合格者数 212名（合格率 44.07%）

##### ・一級建築士 木造建築士 学科試験業務

29. 7. 23（日）

会場 静岡県立大学

一級建築士 実受験者数 589名

合格者数 101名（合格率 17.15%）

木造建築士 実受験者数 13人

合格者数 4名（合格率 30.77%）

##### ・二級建築士 製図試験業務

29. 9. 10（日）

会場 静岡県立静岡城北高校

実受験者数 323名

合格者数 163名 (合格率 50.46%)

・一級建築士 木造建築士 製図試験業務

29.10.8 (日)

会場 静岡県立科学技術高校

一級建築士 実受験者数 194名

合格者数 74名 (合格率 38.14%)

木造建築士 実受験者数 7人

合格者数 5名 (合格率 71.43%)

② 登録申請受け実績

30.3.31 現在

手続の種類	平成 29 年度分			
	一級 建築士	構造・設備 一級建築士	二級・木造 建築士	合計
新規	75	2	152	229
再交付	8	0	16	24
事変書換え	13	0	33	46
再交付+事変書換	1	0	1	2
携帯免許変更	27	2	7	36
合計	124	4	209	337

イ. 専攻建築士の認定事業

(ア) 専攻建築士の更新登録と認定申請の促進及びPR

(イ) 専攻建築士審査評議会関係会議の開催

・専攻認定制度の運営管理

<事業目的・趣旨>

より高度で専門的な知識と技術を併せ持つ建築士を認定し、社会からの期待と信頼に応える専攻建築士制度の事業の推進と制度のPRを図った。

<委員会開催>

第一回 29.11.21 (火) 本会事務局 4名

<事業内容>

専攻建築士審査会の開催

第二回 (予備審査会) 30.2.9 (金) ペガサート7階小会議室 5名

第三回 (審査会) 30.2.14 (水) 郵送による在宅審査 8名

<事業効果>

専攻建築士の登録更新者 1領域 4名

(2) 建築士の資質向上のための研修等の事業

ア. 法第22条の4第5項等に基づく研修

(ア) 「建築技術に関する講習会」の開催

<事業目的・趣旨>

建築士法第22条の4に定められたとおり、建築士会の義務として全ての建築士に対しその業務に必要な知識及び技能の向上を図る機会を提供する。

<開催時期・場所>

29.10.27(金) 静岡市産学交流センター(ペガサート6階)  
プレゼンテーションルーム

<参加人数>

会員29名 非会員4名 (合計33名)

<事業内容>

第一部

テーマ『これからの時代の光環境を考える。空間に共鳴する照明デザインとは』

講師：エッセンシャルライト ジャッパン プロジェクト代表

岡安泉照明設計事務所 岡安 泉 氏

第二部

テーマ 『優良な社会資本ストックとなる家づくりの要点解説』

講師：(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター

常務理事 柳 敏幸 氏

<事業効果>

照明デザインによって非日常的空間が演出できることが事例の紹介でよくわかった。高品質な住宅を普及促進するため、建築基準法レベルの住宅と高品質な住宅について、それぞれの建設費、高熱水費等のランニングコストを比較し、費用対効果の高い家づくりについて議論を深めた。

(イ) 木造住宅の耐震化推進セミナーの開催

<事業目的・趣旨>

静岡県耐震診断補強相談士の資質・技術の向上に繋がる講習事業を実施し、また、一般県民にも既存木造住宅の耐震対策の現状を報告するとともに、静岡県の耐震対策事業の取り組みを紹介することで、「TOUKAI-0事業」の推進に寄与する。

<開催日・場所・参加者(内会員)>

30.1.16(火)	静岡	静岡県経済産業会館	43(27)名
30.1.18(木)	浜松	アクトコンgresセンター	46(31)名
30.1.19(金)	沼津	プラサヴェルデ	56(44)名
30.1.23(火)	島田	島田土木事務所	41(24)名
30.1.25(木)	御殿場	御殿場市民会館	32(21)名
30.1.26(金)	磐田	磐田グランドホテル	36(24)名
30.1.30(火)	下田	下田土木事務所	34(21)名
30.1.31(水)	掛川	掛川商工会館	43(25)名
30.2.01(木)	清水	清水マリンビル	40(23)名
		合計	371(240)名

<事業内容>

講習 I

テーマ 「熊本地震の被災状況報告」

講師 静岡県建築士会会員 各会場1名で延べ8名

テーマ 「耐震等級3について」

講師 (一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター 柳 敏幸氏

#### 講義Ⅱ

テーマ 「木造住宅の耐震化対策について」

- ・プロジェクト「TOUKAI-0」
- ・静岡県地震地域係数の義務化
- ・新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法の紹介
- ・木造住宅の耐震性能チェック

講師 静岡県建築住宅局職員 各会場1名で延べ5名

#### 講義Ⅲ

テーマ 「新耐震木造住宅技術について」

- ・最新の耐震補強技術の紹介

講師 補強金物メーカー職員

#### <事業効果>

静岡県耐震診断補強相談士認定制度が平成13年7月に創設され、これまで静岡県が東海地震対策として推進する「わが家の専門家診断事業」に大きく貢献してきたが、この認定制度は発足以来16年が経過しており、これまで二度にわたる大震災や一昨年4月の熊本地震などにより、建築物に関する耐震の知見や技術の進歩、制度の変遷など多くの変化が見られた。

静岡県建築士会は、「わが家の専門家診断事業」の受託先として、県内28市町と契約を締結しており、「相談士」に登録された多くの会員により、既存木造住宅の耐震診断が行われていることから、「相談士」の資質・技術の向上に繋がる自己研鑽の機会を提供するとともに、一般県民にも既存木造住宅の耐震対策の現状を報告することで公益法人として既存木造住宅の耐震化に寄与することができた。

#### (ウ) しずおか木造塾の開催

##### <事業目的・趣旨>

建築士の継続教育の一環として、木造の設計・施工に主眼をおき、実務面で役立つ5回の連続講座を開催した。平成12年度から開催し18年目で、講座内容は会報紙「建築静岡」にて情報提供を行った。非会員も受講可能とすることで建築士会への参加を促した。

##### <開催場所>

- ・静岡県産業経済会館3階大会議室

##### <参加人数>

- ・85名(会員44名・非会員41名)

<事業内容・開催日>

- 第1講座 29.9.23(土)  
テーマ 「マンションリフォームの基礎と実践」  
講師 小谷 和也 氏(建築家・大阪)  
テーマ 「火災に負けない木の家づくり」  
講師 安井 昇 氏(桜設計集団・東京)
- 第2講座 29.10.21(土)  
テーマ 「ヤマベの木構造の勘どころ」  
講師 山辺 豊彦 氏(構造家・東京)  
テーマ 「実物大の構造実験からわかること」  
講師 五十田 博 氏(京都大学教授)
- 第3講座 29.11.25(土)  
テーマ 「上野英二の住宅設計作法」  
講師 上野 英二 氏(オークヴィレッジ・高山)  
テーマ 「左官の美学」  
講師 挾土 秀平 氏(秀平組・高山)
- 第4講座 30.1.27(土)  
テーマ 「生命力のある建築を目指して」  
講師 光嶋 裕介 氏(建築家・芦屋、東京)  
テーマ 「健康な住環境を目指して」  
講師 南 雄三 氏(住宅技術評論家・東京)
- 第5講座 30.2.24(土)  
テーマ 「timelessな建築デザイン」  
講師 堀部 安嗣 章 氏(建築家・東京)  
テーマ 「狭小地の住宅建設と維持管理」  
講師 田中 健司 氏(田中工務店・東京)

<事業効果>

今年度は全5回の講座を開催し、木造規模の設計を行う際に必要な知識を「意匠設計」「構造計画」「環境性能」「防災対策」など各分野にわたる内容の講座を実施した。会員、非会員を問わず幅広い受講生を集め、各分野で活躍されている講師陣の講座は基本から応用まで分かりやすく、充実した研修となった。

(エ) 既存住宅状況調査技術者講習の開催

<事業目的・趣旨>

平成28年6月宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務付けられることになった。この「既存住宅状況調査」の実施は、国の登録を受けた指定機関が実施する講習会を修了した建築士のみにも与えられる資格であり、(公

社)日本建築士会連合会が登録機関となり、静岡県建築士会が実施機関として講習会を実施した。講師は専門講習を受講した建築士会会員が担当した。

<開催日・場所・参加人数>

・新規講習(講義1(2h)+講義2(3h)+修了考査(50M))

第1回	29.7.26(水)	ペガサート(静岡)	79名
		講師 水上 茂樹氏、石上 鎮夫氏、村上 浩氏	
第2回	29.8.30(水)	アクトシティ(浜松)	87名
		講師 飯尾 清三氏、鈴木 純哉氏、村上 浩氏	
第3回	29.9.8(金)	プラサヴェルデ(沼津)	70名
		講師 佐藤 正一氏、石垣 秀芳氏、小林 武司氏	

・移行講習(講義1(1h)+講義2(2h)+修了考査(50M))

第1回	29.8.8(火)	プラサヴェルデ(沼津)	57名
		講師 佐藤 正一氏、小林 武司氏	
		合計	293名

<事業内容>

(講義1)

- 1.1 既存住宅流通市場の現状と国の取り組み状況
- 1.2 改正宅地建物取引業法の概要
- 1.3 既存住宅状況調査の概要(第2章の既存住宅状況調査方法基準の構成内容の説明(概略)を含む)
- 1.4 既存住宅状況調査技術者の役割等
- 1.5 公正な業務実施のための遵守事項
- 1.6 既存住宅状況調査の手順
- 1.7 情報の開示(+処分)
- 1.8 既存住宅売買時における調査結果の活用
- 1.9 既存住宅売買瑕疵担保責任保険の概要

(講義2)

- 第2章 既存住宅状況調査方法基準
- 第3章 既存住宅状況調査(木造・鉄骨造)
- 第4章 既存住宅状況調査(鉄筋コンクリート造等)
- 第5章 オプション調査項目
- 第6章 報告書の実例(記入例)
- 第7章 検査機器
- 第8章 住宅の瑕疵の事例

<事業効果>

住宅ストック数は世帯数を大きく上回り既存住宅の活用は社会的な課題となっており、この分野における建築士業務が増えることが予想されている。



この時代ニーズに対応するため、法に基づく新たな制度のもとで既存住宅の活用に向けた建築士の知識・技術の向上を図るとともに、講習の場を提供することができた。

- (オ) 各ブロックにおける研修、講習会及び見学会等の開催  
ブロック事業参照

イ. 法第 22 条の 2 に基づく研修（定期講習）

- (ア) 未受講者が出ないよう制度の周知方法等の検討  
(イ) 受講者の便宜を考慮した受講者増加のための方策の検討

<事業目的・趣旨>

平成 20 年 11 月 28 日に施行された改正建築士法の規定により、建築士事務所に所属する建築士は、3 年毎に国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う「建築士定期講習」の受講が義務付けられた。建築士がその義務を遅滞なく遂行するため、（公財）建築技術教育普及センターと共同してこの事業を実施した。

<開催時期、場所及び参加人数>

第 2 期分

（開催日）	（会場）	（参加者）
29. 8. 29（火）	アクトシティ浜松	63 名
29. 9. 12（火）	プラサヴェルデ	80 名
29. 9. 29（金）	静岡労政会館	81 名（合計 224 名）

<事業内容>

改正建築士法に定められた「建築士定期講習」の実施

- ・建築物の建築に関する法令に関する科目
- ・設計及び工事監理に関する科目

<事業効果>

今年度は、東部・中部・西部 3 か所での開催を 1 回行うことにより、会員及び建築士の講習会への参加を容易にし、新規及び更新者が確実に定期講習を受講し、建築士としての業務を滞りなく継続できる機会を提供した。

ウ. 継続能力開発（CPD）制度

- (ア) 行政機関の実施する入札等で単位取得者への優遇措置導入への働きかけ  
(イ) 非会員及び建築施工管理技士への CPD 参加推進

- ・ CPD 登録制度

<事業目的・趣旨>

建築士が良好な質の高い建築環境の構築に資するため、指定した研修等を受講したり、建築相談等の社会貢献活動をすることで単位を付与する制度であり、CPD 制度の事業の推進と制度の PR を図ると共に、行政機関における入

札等で単位取得者への優遇措置導入への働きかけを推進した。

本年度登録更新料未納者の継続意志確認を行い、登録者数の確定を行った。

<委員会開催>

29.11.21 (火) 本会事務局 参加者 4名

<事業内容>

CPD登録更新

・平成29年6月1日(木)～6月30日(金)及び随時受付

CPDプログラム認定

・毎月1回認定審査

CPDカード作成依頼 毎月25日発注

<事業効果>

CPD登録者数を維持できた。 合計403名 30.3.31現在

(内訳：正会員287名、賛助会員8名、非会員108名)

エ. 地震関連の資格取得のための講習会

想定される東海地震に備え、県指定の講習会を受託するなど、県の施策に積極的に協力していく。

(ア) 応急危険度判定士講習会の受託、実施

静岡県地震被災建築物応急危険度判定士養成講習会を開催した。

<新規・更新対象者>

(開催日)	(会場)	(参加者)
29.10.13 (金)	島田土木事務所	55名
29.10.20 (金)	熱海総合庁舎	20名
29.11.7 (火)	浜松総合庁舎	106名
29.11.22 (水)	静岡県庁	183名
29.11.30 (木)	袋井土木事務所	54名
29.12.15 (金)	東部総合庁舎	87名 (合計505名)

講師 会員6名 (各会場1名 建築士会会員)

(イ) 静岡県耐震診断補強相談士の養成・更新

(一財)日本建築防災協会主催の国土交通大臣登録/木造耐震診断資格者講習及び木造住宅の耐震改修技術者講習会を受託し開催した。

<1日目 木造耐震診断資格者講習>

(開催日)	(会場)	(参加者)
29.9.20 (水)	あざれあ大会議室	101名

<2日目 木造住宅の耐震改修技術者講習会>

29.9.21 (木)	あざれあ大会議室	67名
-------------	----------	-----

講師 (一財)日本建築防災協会 (合計168名)

## オ. 建築士を目指す者への支援

建築家を目指す高校生や建築士の受験資格を有し、建築士を目指す者に対する支援を実施する。

### (ア) 建築甲子園の静岡大会の開催

<2017年第8回建築甲子園県内予選>

- ・開催日 29. 11. 19 (日)
- ・会場 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター  
交流研修ルーム+多目的ルーム
- ・参加校及び作品名 (5校7チーム)
  - ① 静岡県立伊豆総合高校 「みら izu ～伊豆の未来を見て～」
  - ② 静岡県立伊豆総合高校 「スポーツで広がる可能性 伊豆 2020」
  - ③ 静岡県立科学技術高校 「伝統工芸×商店街 駒方通り再生計画」
  - ④ 静岡県立島田工業高校 「文化とまわる家」
  - ⑤ 静岡県立天竜高校 「街の防災ステーションー  
コンテナで人名も空き家も救う」
  - ⑥ 静岡県立天竜高校 「月」を継承 「月」の文化をふたたび
  - ⑦ 静岡県立浜松工業高校 「Lets Communicate!  
～地域と暮らす寮生活～」
- ・県予選結果 (優勝) 静岡県立天竜高校  
(準優勝) 静岡県立科学技術高校
- ・全国大会結果 優勝・準優勝校の2作品を全国大会にエントリーした結果、  
静岡県立天竜高校は、ベスト8・審査委員長特別賞を受賞。  
静岡県立科学技術高校は、奨励賞を受賞。

### (イ) 後継者の養成

- ①一級建築士製図試験課題の施設見学会 東部・西部ブロック
- ②二級建築士製図講習会 中部ブロック
- (詳細 ブロック事業参照)

## 2 地域住民との連携、地域の安全確保のための事業 (公益目的事業2)

### (1) まちづくり、景観形成事業

#### ア. 景観整備事業

地域の良好な景観の形成に関する専門家の育成、情報の提供、その他の支援活動を推進する。

#### (ア) 景観研修会の開催

- ・SHEC まちづくり会議

<事業目的・趣旨>

静岡県建築士会は、平成25年9月に静岡県ヘリテージセンター (SHEC) を開設し、歴史的建造物の維持保全・活用のため、建築士、職人、行政等のネット

ワークを構築するとともに、歴史的建造物をまちづくりに活かすための事業を行ってきた。しかしながら、歴史的建造物の維持保全にはさまざまな課題があることから、それぞれの地域の個別事例を学ぶことで、建築士としての自己研鑽と更なる資質の向上に繋げる。

<開催場所・時期>

30.3.3 (土) 鴨江アートセンター

<参加人数>

37名 (SHEC 構成員及び会員 22名、非会員 15名)

<事業内容>

①「昭和の建物見学会」 鴨江アートセンター(旧浜松警察署)

木下恵介記念館(旧浜松銀行協会)

②講 演 「生きた建築の見方、見つけ方、楽しみ方」

講 師 倉方 俊輔 氏(大阪市立大学大学院工学研究科准教授)

③「シンポジウム／歴史的建造物利活用のゆくえ」

パネラー 倉方 俊輔 氏

青木 明子 氏(アートコーディネーター)

乾 久子 氏(美術家)

伊藤 哲郎 氏(静岡県建築士会)

<事業効果>

参加者全員により、歴史的建造物の維持保全・活用の課題、SHECの組織のあり方、ヘリテージマネージャーの今後の処し方等、一人一人が感じている思いを忌憚なく話し合うことができた。

(イ) 地域文化財専門家・育成研修の開催

・地域文化財専門家研修

<事業目的・趣旨>

地域の文化財建造物を判定できる専門家を講義と実地研修の二本立てで育成する。

<開催場所>

現場研修を除き各回とも常葉学園大学サテライト

<参加人数>

会員 6名、非会員 8名 (合計 14名)

<事業内容・開催日時>

第1回 29.6.10 (土)

テーマ 「静岡県の文化財建造物」

講 師 土屋 和男 氏 (常葉大学教授)

第2回 29.7.22 (土)

テーマ 「文化財建造物の保存」

講 師 西澤 泰彦 氏 (名古屋大学大学教授)

第3回 29.8.26(土)

テーマ 「文化財建造物の活用」

講師 瀬口 哲夫 氏(名古屋市立大学名誉教授)

第4回 29.9.16(土)

テーマ 「修理の現場研修」<一乗寺修理工事・清水区>

講師 増田 千次郎 氏(日本建築センター)

第5回 29.10.14(土)

テーマ 「文化財建造物の管理」

講師 木村 勉 氏(長岡造形大学教授)

第6回 29.11.25日(土)

テーマ 「さらなる活動の展開1」

講師 西村 幸夫 氏(東京大学教授)

第7回 29.12.16日(土)

テーマ 「さらなる活動の展開2」

講師 後藤 治(工学院大学教授)

<事業効果>

地域の歴史的建造物を判定できる専門家として文化財建造物を保全・修繕・活用等の知識・技術を身につけ、建築士として更なる資質の向上が図られた。

(ウ) 美しいしずおか景観推進事業(県主宰)への参加、協力

・静岡県景観賞

<事業目的・趣旨>

県民共通の資産である県土の景観に関する啓発活動を行うことにより、しずおかの美しさを守り、育て創ることに寄与する。

主催 美しいしずおか景観推進協議会(本建築士会は構成団体)

<事業内容>

静岡県景観賞の選考・授与

5部門 民間施設、公共施設、まちなみ、田園・農山漁村、景観づくり活動

1部門1件の優秀賞

優秀賞の中から優れた1地区を最優秀賞(知事賞)とする。

・知事賞 『三島大通り商店街とガーデンシティみしまのシンボルロード』  
に決定(まちなみ部門)

・静岡県建築士会賞 『半夏生の里 鍛冶島』(田園・農山漁村部門)

<募集期間・審査>

募集 29.5.24(水)~29.7.21(金)まで

書類審査 29.8.8(火) 書類審査

現地審査 29.8.24(木) 8.29(火)、8.30(水)最終審査委員会

表彰式 29.11.18(土) エスパルスドリームプラザ

審査員 建築士会から1名

<事業効果>

静岡県が推進する景観賞事業の構成団体として寄与し、優れた景観形成の開発に貢献することができた。

<<その他の事業>>

①PR活動

市町へ景観整備機構のPR、景観行政団体へ景観整備機構の指定を要請。

- ・静岡県、浜松市、下田市、熱海市、伊東市、三島市、沼津市、裾野市、御殿場市、伊豆の国市、伊豆市、富士市、富士宮市、島田市、牧之原市、掛川市、袋井市、磐田市、湖西市の各市へ働き掛けを行った。(景観法第92条第1項に規定する景観整備機構の指定)

②「建築静岡」景観整備機構・瓦版連載毎号1頁連載。2018年新年号で第81回。

(2) 県民の安全確保のための事業

ア. 住宅の耐震診断

(ア)「わが家の専門家診断事業」(受託事業)

この事業は、プロジェクト「TOUKAI-0」事業の一環として、住民がわが家の耐震性を知り、耐震改修の重要性を理解することにより耐震改修工事を促進することを目的に実施した。

市 町	受託・件数	市 町	受託・件数
下 田 市	12	御 殿 場 市	100
東 伊 豆 町	10	小 山 町	65
河 津 町	7	<b>御殿場地区計 2</b>	<b>165</b>
南 伊 豆 町	0	静岡県(清水区)	162
松 崎 町	6	<b>清 水 地 区 計(1)</b>	<b>162</b>
西 伊 豆 町	6	静岡県(葵・駿河区)	228
<b>賀茂地区計 6</b>	<b>41</b>	<b>静岡地区計 1</b>	<b>228</b>
伊 東 市	60	牧之原市	22
<b>伊東地区計 1</b>	<b>60</b>	吉 田 町	47
熱 海 市	15	<b>榛原地区計 2</b>	<b>69</b>
<b>熱海地区計 1</b>	<b>15</b>	掛 川 市	87
三 島 市	20	菊 川 市	24
伊 豆 市	6	御前崎市	6
伊豆の国市	19	<b>小笠地区計 3</b>	<b>117</b>
函 南 町	7	磐 田 市	76
<b>三島地区計 4</b>	<b>52</b>	袋 井 市	23
沼 津 市	110	森 町	23
清 水 町	24	<b>中遠地区計 3</b>	<b>122</b>
長 泉 町	20	浜 松 市	450
<b>沼津地区計 3</b>	<b>154</b>	<b>浜松地区計 1</b>	<b>450</b>
裾 野 市	46		
<b>裾野地区計 1</b>	<b>46</b>	<b>合計 28(2)</b>	<b>1,681</b>

(イ)「木造住宅補強計画策定事業」(受託事業)

旧耐震の木造既存住宅で耐震性に不安のある住宅を対象に、各住宅に出向いて老朽度を確認しながら補強計画の策定を行うと共に、耐震補強に繋がる相談等を行った。

<業務の内容>

国土交通省告示第184号(平成18年1月25日)による方法、「静岡県耐震診断補強マニュアル(改訂版)平成21年8月及び、木造住宅の耐震リフォーム事例集(静岡県発行)に基づき行った。

- ・木造住宅の補強計画の策定
- ・木造住宅の耐震補強につながる相談、安全な住まい方指導、概算工事費算出等

<対象市> 三島市

<実績> 10件

- ・図面有 わが家の耐震診断の実施有 0件
- ・ 同 わが家の耐震診断の実施無 2件
- ・図面無 わが家の耐震診断の実施有 5件
- ・ 同 わが家の耐震診断の実施無 3件 (合計10件)

(ウ)「木造住宅耐震戸別訪問事業」(受託事業)

昭和56年以前に建築され、耐震補強工事を実施していない木造住宅の所有者等に対し、住宅の耐震化についての意向調査を実施し、その際、耐震補強の必要性を説明するとともに、補助金制度の周知を行うことにより、耐震診断・補強工事の実施を誘導することで耐震化率の向上を推進した。

<業務の内容>

「静岡県耐震診断補強相談士認定人制度要綱」により認定された相談士が、既存住宅の耐震化を促進するための普及啓発等に係る戸別訪問を行い、住民の意向を調査した。

<対象市・地区> 沼津市 片浜地区

<実績> 調査件数 643戸

イ. 応急危険度判定

(ア) 総合防災訓練等における応急危険度判定士訓練の実施

平成29年度静岡県・南駿地域総合防災訓練における地震被災建物応急危険度判定士訓練を実施した。

① 第2回準備会

- ・開催日 29.6.6(火)
- ・会場 沼津市南部浄化センター
- ・参加者 1名

② 第3回準備会

- ・開催日 29. 8. 10 (木)
- ・会 場 沼津市南部浄化センター
- ・参加者 2名

③ 応急危険度判定模擬訓練

- ・開催日 29. 9. 3 (日)
- ・会 場 沼津市南部浄化センター
- ・参加者 2名

(イ) 静岡県東海地震対策士業連絡協議会

想定される東海地震に対し専門家職能団体及びその構成員が専門知識を生かし、防災活動並びに災害復興、被災住民の支援活動を行うため、士業間でさらなる協議・連携強化を深めた。

- ・開催日 29. 8. 25 (金)
- ・会 場 静岡県弁護士会館
- ・参加者 1名

(3) 住宅に関する展示等による情報発信事業

ア. 県民に建築技術や情報提供の場の設定、ホームページや機関紙などの情報発信

(ア) 機関誌「建築静岡」の発行

<事業目的・趣旨>

建築に係る最新情報や建築士会の活動状況、各種お知らせ等を定期的に会員及び県民に提供することで、建築士会に対する理解を深めてもらう。

<発行状況>

年4回

- |      |         |              |         |
|------|---------|--------------|---------|
| ・春号  | No. 660 | 29. 4. 1 発行  | 1,500 部 |
| ・夏号  | No. 661 | 29. 7. 1 発行  | 1,500 部 |
| ・秋号  | No. 662 | 29. 10. 1 発行 | 1,500 部 |
| ・新年号 | No. 663 | 30. 1. 1 発行  | 1,500 部 |

「建築静岡」とともに、日本建築士会連合会発行の機関誌「建築士」(毎月発行)を毎月会員へ郵送している。

<情報内容>

「建築静岡」には、建築時事特集、コラム、シリーズ情報、委員会等活動等連載、事業報告、お知らせ等の記事を掲載している。さらに会員への挟み込み情報を受付け、機関誌とともに発送している。

<事業効果>

機関誌の発行は、公益法人としての建築士会の社会的認知度を高める有効な手段であり、また、会員相互の連携を深めると共に資質の向上にも寄与することができた。



(イ) ホームページの充実

<事業目的・趣旨>

24.4.1 から公益法人化した建築士会のホームページは、その公益性の観点から情報公開の一層の推進を図り、より見やすく活用し易いものとなるよう随時更新しており、WEB サイトの管理及び運用に関し必要な事項を定め、各種情報を会員及び県民にリアルタイムで発信している。

<事業内容>

- ・HPトップページに9つのコンテンツを作成。(①建築士会新着情報、②関係団体新着情報、③行政新着情報、④一般新着情報、⑤活動報告新着情報、⑥建築静岡新着情報、⑦東部新着情報、⑧中部新着情報、⑨西部新着情報)
- ・HPカレンダー機能を追加。
- ・公益法人として情報公開コンテンツの設置。

<事業効果>

ホームページで最新情報をリアルタイム情報で発信すると共に、相互情報の交換など、会員及び県民の利便性の向上と建築士会の円滑な運営・活動に資することができた。

(4) 建築相談事業

ア. 県民の住宅建築に関する様々な相談に対応

県下各地区において、住民からの各種建築相談に対応すべく行政等ともタイアップし定期的に無料相談会を開催している。

(ア) 展示会等における相談コーナーの設置

(イ) 市町主催の住民相談室等への派遣

(ウ) 住宅関係機関等への相談員派遣

ブロック事業参照

(エ) 行政、司法の住宅紛争事案等への専門家派遣

静岡県建設工事紛争審査会（県所管）の委員として建築士会会員6名が、さらに静岡県住宅紛争審査会処理委員（静岡県弁護士会所管）として、同5名が就任している。

3 法人管理

(1) 会員増強策等の検討

ア. 会員の減少は、組織の将来に関わる重要な問題であることから、できることから実動を図って行くこととした。

①ブロック関連事業

- ・二級建築士製図講習会 中部ブロック
- ・一級建築士製図試験課題の施設見学会 東部・西部ブロック
- ・浜松工業高校交流会 西部ブロック
- ・天竜高校交流会 西部ブロック

(詳細 ブロック事業参照)

イ. 建築士試験新規合格者への入会案内

建築士養成機関の協力の下、入学式、合格者祝賀会、卒業式へ本会関係者が出向き、建築士会の紹介をするとともに入会を働きかけた。

(2) 予算委員会の設置

平成 29 年度の予算編成に当たっては、予算委員会(予算担当副会長を委員長に 3 副会長・3 常務理事を委員)を設置し、費用対効果を意識した事業の重点化や管理運営経費の見直しなどを行い、公益社団法人に相応しい持続可能な財政運営を図っていくための検討を行った。なお、会費の滞納は、財政基盤を揺るがすものであり、不要な手間、費用を必要とすることから、口座振替の加入を積極的に促進した。

第 1 回	29. 10. 11 (水)	予算委員会の設置・財務状況の把握
第 2 回	29. 12. 13 (水)	要求状況の把握・調整
第 3 回	30. 1. 10 (水)	1 次査定審査
第 4 回	30. 2. 14 (水)	1 次査定結果調整・確定
—	30. 3. 14 (水)	第 7 回理事会で予算承認

(3) 建築士会東海北陸ブロック会

<事業目的・趣旨>

東海北陸 7 県の建築士会会長及び日本建築士会連合会会長が一堂に会し、建築に係る諸課題を協議するとともに、情報の共有を図ることを目的に会議を開催した。会議は各県の持ち回りであり、平成 28 年度は静岡県建築士会が当番県となった。

<開催日・場所・参加者>

第 1 回	29. 7. 7 (金)	名鉄グランドホテル	25 名
第 2 回	29. 9. 25 (月)	名鉄グランドホテル	30 名
第 3 回	29. 11. 10~11 (金・土)	名鉄犬山ホテル	21 名
第 4 回	30. 2. 9 (金)	名鉄グランドホテル	25 名

<特記事項>

・専門部会の設置

平成 27 年 11 月に開催された第 3 回富山会議で、(公社)日本建築士会連合会から自治体と連携するまちづくり活動を活性化するために、防災／歴史(景観)／福祉まちづくり部会等を設置したので、これに呼応し各ブロックに於いても同様な取り組みをされたいとの要請があった。

これを受け東海北陸ブロック会としては、手始めに一つの専門部会を設置することとし、静岡士会が 27 年度に提案し協議していた「災害時等の非常時における歴史的建造物被災状況調査等の広域連携」を専門部会の議題として、各士会から委員を選任し協議していた。

<広域連携の合意>

協議の結果、平成 29 年 11 月 10 日付けで東海北陸 7 県建築士会が「歴史的建造物の平常時及び非常時における広域連携に関する合意事項」を取りまとめた。

### Ⅲ ブロック

#### A 会議

##### a 東部ブロック

###### 1 東部ブロック協議会 (8回)

第1回 29.4.21(金) 参加者 15名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・新入会員の承認について
- ・新事務局の引っ越し予定

第2回 29.6.2(金) 参加者 15名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について

第3回 29.7.7(金) 参加者 16名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について

第4回 29.8.4(金) 参加者 18名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・会長候補選考委員会委員の推薦について
- ・伊豆の国市都市計画審議会委員の推薦について
- ・事業カレンダーについて

第5回 29.10.6(金) 参加者 17名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・既存住宅講習会について

第6回 29.12.1(金) 参加者 16名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・平成30年度事業計画案・予算案について
- ・新入会員の承認について

第7回 30.2.2(金) 参加者 17名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告、予定について
- ・平成30年度役員について
- ・地区事業費収支予算の注意事項について
- ・事業カレンダーについて
- ・本会副会長候補者推薦について

第8回 30.3.23(金) 参加者 17名

- ・常設委員会、各地区事業執行報告について

・その他

###### 2 会員厚生委員会 (6回)

委員会会議

(5/25、6/15、9/21、10/19、11/29、1/12)

###### 3 事業研修委員会 (6回)

委員会会議

(7/6、8/3、11/3、12/14、1/24、3/6)

###### 4 青年企画委員会 (6回)

委員会会議

(6/17、7/29、8/26、9/2、9/23、3/24)

###### 5 まちづくり委員会 (2回)

委員会会議

(12/14、2/1)

##### b 中部ブロック

###### 1 中部ブロック協議会 (12回)

第1回 29.4.13(木) 参加者 19名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・29年度予算案について
- ・ブロック事務局移転について

第2回 29.5.18(木) 参加者 20名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・全国大会について
- ・年間スケジュールについて

第3回 29.6.15(木) 参加者 19名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・既存住宅状況調査技術講習会について
- ・新入会員刈エンションについて

第4回 29.7.20(木) 参加者 17名

- ・平成30.31年度会長候補選考委員会の設置について
- ・全国大会について

第5回 29.8.17(木) 参加者 17名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・全国大会について
- ・法22条の4講習会について

第6回 29.9.14(木) 参加者 18名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・ブロック追加予算について

第7回 29.10.18(水) 参加者 18名

- ・常設委員会・地区報告について
- ・平成30年度以降の定期講習講師の選任について

・平成29年ブロック追加予算について

・平成30年度当初予算編成について

第8回 29.11.17(金) 参加者 20名

- ・常設委員会・地区報告について

- ・平成 30 年度以降の定期講習講師の選任について
  - ・平成 30 年度当初予算編成について
- 第 9 回 29.12.20 (水) 参加者 15 名
- ・常設委員会・地区報告について
  - ・平成 30 年度以降の定期講習講師の選任について
  - ・平成 30 年度当初予算編成について
- 第 10 回 30.1.18 (木) 参加者 20 名
- ・常設委員会・地区報告について
  - ・平成 30 年度当初予算編成について
  - ・平成 30.31 年度理事候補について
  - ・ブロック報告会について
- 第 11 回 30.2.15 (木) 参加者 18 名
- ・常設委員会・地区報告について
  - ・平成 29 年度ブロック決算について
  - ・ブロック報告会について
- 第 12 回 30.3.20 (火) 参加者 25 名
- ・常設委員会・地区報告について
  - ・平成 29 年度ブロック決算について
  - ・ブロック・本会年間予定について
- 2 会員厚生委員会(9 回)**  
**委員会会議**  
(5/11、6/8、7/6、9/6、10/2、11/6、1/11、2/1、3/29)
- 3 事業研修委員会(8 回)**  
**委員会会議**  
(4/7、5/11、7/7、8/18、9/9、11/10、2/2、3/2)
- 4 青年企画委員会(8 回)**  
**委員会会議**  
(4/7、5/13、7/8、8/26、9/9、11/18、1/20、3/10)
- 5 まちづくり委員会(10 回)**  
**委員会会議**  
(4/26、7/11、8/4、9/24、11/1、12/5、1/11、2/7、3/7、3/17)
- c 西部ブロック**
- 1 西部ブロック協議会(6 回)**
- 第 1 回 29.4.7 (金) 参加者 18 名
- ・平成 28 年度事業報告会について
  - ・平成 29 年度事業予算について
  - ・広報取材活動精算書の承認
  - ・会員親睦会精算書の承認
  - ・平成 28 年度活動報告パンフレット作成予算書の承認
- ・明治屋醤油見学会精算書の承認
  - ・伊豆石の蔵パネル製作精算書の承認
  - ・地域貢献、まちづくり会議精算書の承認
  - ・住吉ポンプ室見学会精算書の承認
  - ・小笠地区移動パネル展精算書の承認
  - ・小笠地区第 3 回地区会、講習会の精算書の承認
  - ・中遠地区第 3 回地区会、講習会の精算書の承認
  - ・入退会者の承認
- 第 2 回 29.6.2 (金) 参加者 15 名
- ・平成 28 年度ブロック事業報告会精算書の承認
  - ・平成 29 年度事業予定表について
  - ・家族ふれあいたい会予算書の承認
  - ・技術見学会予算書の承認
  - ・全国大会及び建築探訪について
  - ・平成 29 年度活動報告パンフレット作成精算書の承認
  - ・第 3 回けんちく夜会予算書の承認
  - ・入退会者の承認
- 第 3 回 29.8.4 (金) 参加者 17 名
- ・既存住宅状況調査技術者講習会について
  - ・平成 29 年度費消事業について
  - ・平成 29 年度追加事業予算について
  - ・家族ふれあいたい会について
  - ・全国大会及び建築探訪予算書の承認
  - ・設計製図建物見学会予算書の承認
  - ・広報取材活動予算書の承認
  - ・第 3 回けんちく夜会予算書の承認(再提出)
  - ・中遠地区第 1 回地区会精算書の承認
  - ・入退会者の承認
- 第 4 回 29.10.6 (金) 参加者 17 名
- ・平成 30・31 年度会長候補者ブロック推薦の承認
  - ・建築士法 22 条の 4 第 5 項に基づく建築技術講習会について
  - ・家族ふれあいたい会精算書の承認
  - ・建築分野におけるドローンの活用と操作体験講習会について
  - ・設計製図建物見学研修会精算書の承認
  - ・青年大会精算書の承認
  - ・広報取材活動精算書の承認

- ・小笠地区、菊川市「特定空家の認定調査」への建築士会員同行依頼について
- ・小笠地区第1回地区会精算書の承認
- ・入会者の承認

第5回 29.12.1(金) 参加者16名

- ・平成30・31年度役員選出について
- ・ブロック協議会組織の改編について
- ・木造住宅耐震化推進セミナーについて
- ・新技術講習会、新年懇親会予算書の承認
- ・家族ふれあいたい会精算書の承認(再提出)
- ・建築分野におけるドローンの活用と操作体験講習会精算書の承認
- ・日帰り建築探訪について
- ・上下水道フェスタ・まちづくり活動成果発表精算書の承認
- ・第4回けんちく夜会予算書の承認
- ・しずおか町並みゼミ「伊豆石の蔵」移動展示予算書の承認
- ・堀部安嗣氏「建築の鼓動」公演、映画上映会企画書について
- ・浜松地区 空家ノンストップ相談会について

第6回 30.2.2(金) 参加者19名

- ・平成30年度ブロック事業予算について
- ・平成29年度浜松駅前広場管理事業C.D地下道他屋根支柱調査業務について
- ・平成29年度事業報告会及び懇親会について
- ・新年懇親会、新技術講習会精算書の承認
- ・「建築女子 楽しいお仕事セミナー」予算書の承認
- ・天竜高校交流会精算書の承認
- ・東海北陸ブロック会議予算書の承認
- ・(仮)マイホーム貯金箱作成予算書の承認
- ・堀部安嗣氏「建築の鼓動」公演、映画上映会予算書の承認
- ・中遠地区第3回地区会精算書の承認
- ・近畿建築祭、パネル展参加、精算書の承認
- ・まちづくり委員会、伊豆石の蔵パネル製作予算書の承認

- ・まちづくり委員会「明治屋醤油見学会」予算書の承認
- ・第3回中遠地区会、講習会、予算書の承認
- ・入退会者の承認

2 会員厚生委員会(10回)

委員会会議

(4/27、6/1、6/22、7/27、8/20、10/26、11/30、12/21、1/16、3/22)

3 事業研修委員会(9回)

委員会会議

(4/25、5/23、6/27、7/25、8/29、9/26、10/24、11/28、1/23)

4 青年企画委員会(9回)

委員会会議

(4/26、5/24、6/28、8/23、9/27、10/18、12/1、1/24、3/28)

5 広報情報委員会(5回)

委員会会議

(5/9、8/1、9/30、11/29、2/23)

6 まちづくり委員会(9回)

委員会会議

(4/19、6/21、8/23、10/18、11/15、12/18、1/17、2/23、3/3)

7 賛助会委員会(3回)

委員会会議

(4/20、6/13、10/20)

B 事業

a 東部ブロック

1 会員厚生委員会

ア. 東部ブロック会員交流バーベキュー大会(会員厚生・賀茂地区合同)

<事業目的・趣旨>

会員間の親睦を深める。

<開催時期・場所>

29.7.1(土) 西伊豆町

<参加人数>

43名

<事業内容>

会員とその家族等の参加でバーベキュー大会を行い、親睦を深める。

<事業効果>

昨年と同様に、今年も東部ブロック事業として賀茂地区会員厚生委員会と合同で開催し会員親睦を深めることができ会員の新しい仲

間作りの場になった。

向上が図れた。

## イ. 東部ブロック第2回会員交流会

<事業目的・趣旨>

建築士知識向上研修をしながら、会員間の親睦を深める。

<開催時期・場所>

30.1.12(金) 三島市

<参加人数>

17名

<事業内容>

市内見学研修及び懇親会

<事業効果>

いろいろな立場の会員が参加し、研修見学会及び懇親会を行うことで、会員・賛助会員の親睦を深めることができ情報公開や新しい仲間づくりの場となった。近くの町の未知の史跡等を見学し個々の勉強の機会となった。

## ウ. 東部ブロック会員交流大会

<事業目的・趣旨>

年に1度東部ブロック内、各地区役員、各会員、賛助会員が一同に会して事業報告と共に勉強会を行う。

<開催時期・場所>

30.3.16(金) 三島市民文化会館

<参加人数>

事業報告会 56名 懇親会 47名

<事業内容>

各地区、委員会の事業報告  
解析ソフト「Wallstat」の概要についての講習会  
賛助会員のアピールタイム

<事業効果>

東部ブロックの常設委員会の活動内容や、各地区の実施した事業等の報告を行い、建築士会東部ブロックでの活動内容を周知することができた。勉強会では建物の耐震についての学習ができ、また賛助会員のアピール等で建築業界のいろいろな状況が把握でき、知識

## 2 事業研修委員会

### ア. 研修見学会

<事業目的・趣旨>

建築業務に必要となる幅広い知識を習得してもらう機会を提供する。

<開催時期・場所>

29.11.25~26(土、日) 東京都

<参加人数>

24名

<事業内容>

研修見学会 子規庵、根津神社、深川江戸資料館、中川船番所記念館外

<事業効果>

建築以外の視点から、江戸下町の風情を感じることによる体験型見学を行うことで本業に繋がる感性を養うことができた。

## 3 青年企画委員会

### ア. 青年大会

<事業目的・趣旨>

他ブロックと合同で活動報告や意見交換を行うと共に、親交・交流を図る。

<開催時期・場所>

29.9.9(土) 静岡市清水区

<参加人数>

3名

<事業内容>

他ブロックとの情報交換研修

<事業効果>

他ブロックの青年企画委員との交流を図ると共に、歴史的な建築物を見学したことで建築士としての資質向上が図れた。

### イ. 地域への建築士広報活動

<事業目的・趣旨>

一般の人々に建築士の職能を認知してもらい、建築士の必要性を啓発する。

<開催時期・場所>

(1)29.8.5~6(土、日) 静岡伊勢丹

(2)29. 8. 26～27 (土、日)  
静岡ガスエネリアショールーム柿田川

(3)29. 10. 28～29 (土、日)  
沼津市大手町仲見世商店街  
＜参加人数＞

- (1) 8名
- (2) 11名
- (3) 17名

＜事業内容＞

- (1) 夏休みキッズワンダーランド参加(体験)
- (2. 3) リフォーム提案・片付&家事サポートトーク・建築相談

＜事業効果＞

- (1) 子供向けの職業体験を通して、建築士という職業を一般の方々へ知ってもらうことができた。
- (2. 3) 一般の方々に建築士の職能を知ってもらうことができた。また建築士に相談し役位環境を作るための足掛かりとなった。

#### ウ. 青年交流事業

＜事業目的・趣旨＞

全国大会青年フォーラムへの参加

＜開催時期・場所＞

29. 12. 8～9 (金、土) 京都府

＜参加人数＞

8名

＜事業内容＞

全国大会青年フォーラム参加及び会場見学

＜事業効果＞

全国の青年建築士の活動が参考になった。  
また、会場視察に関しては、近々静岡県で全国大会の開催が予定されており、設営面で参考にすることができた。

#### エ. 東海北陸ブロック青年建築士協議会

＜事業目的・趣旨＞

他県の青年建築士の活動を知り、意見交換・研修を行うことによって、自県のこれからの活動の活性化を図る。

＜開催時期・場所＞

30. 2. 17～18 (土、日) 岐阜県

＜参加人数＞

7名

＜事業内容＞

東海北陸ブロック青年建築士協議会ブロック大会への参加

＜事業効果＞

他県の建築士との意見交換や研修により知識の向上が図れ、又、他県の活動を知ることにより自県の活動の参考にすることができた。

#### オ. 製図課題見学研修会

(西部ブロックと合同)

#### 4 まちづくり委員会

##### ア. 地域貢献・まちづくり会議

＜事業目的・趣旨＞

地域のまちづくりを勉強し、今後各地での調査を実施する。本会等で開催されるまちづくりイベント等に参加サポートする。

＜開催時期・場所＞

30. 3. 3 (土) 鴨江アートセンター

＜参加者人数＞

5名

＜事業内容＞

昭和の建物見学 倉方俊輔講演会 シンポジウム

＜事業効果＞

現在鴨江アートセンターとして利用されている旧浜松警察署建物や木下啓介記念館として保存されている旧浜松銀行協会を西部建築士会の案内により見学したことで、東部地区での文化財等の利活用について参考にすることができた。倉方先生の講演ではイケフェス大阪の活動が紹介され勉強になった。シンポジウムに先だち上映されたEテレの番組で浜松地区の建築士の活動が紹介され興味深かった。シンポジウムには鴨江アートセンターの管理者や利用者が参加し建造物の利活用状況が発表され参考になった。

## 東部ブロック地区事業

### (1) 賀茂地区

- ・東部ブロック会員交流ハートフェスタ大会  
(会員厚生・賀茂地区合同)  
(研修内容は会員厚生委員会に記載)

- ・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)  
＜事業目的・趣旨＞  
賀茂地区、伊東地区、熱海地区と合同研修会。著名な建築物を訪問するため研修見学会を行う。

＜開催時期・場所＞

29. 10. 29～30 (日、月) 東京都

＜参加人数＞

17名

＜事業内容＞

建築倉庫の建築模型、北斎美術館、21-2 ザインサイト、国立新美術館等見学

＜事業効果＞

著名な建築士の作品を見学することで業務の参考となる刺激を受けてきました。また各地区の実情等について意見交換ができた。

- ・意見交換会新年会

＜事業目的・趣旨＞

会員相互の親睦を目的とし、情報などの交換も兼ねる。

＜開催時期・場所＞

30. 1. 27 (土) 下田市

＜参加人数＞

8名

＜事業内容＞

会員間の情報交換、親睦を深める。

＜事業効果＞

次期の地区役員の依頼、次期地区事業の検討、新入会員の歓迎会を兼ね有意義にできた。

### (2) 伊東地区

- ・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)  
(研修内容は三島地区に記載)
- ・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)  
(研修内容は賀茂地区に記載)
- ・伊東建設関連業者連絡協議会  
＜事業目的・趣旨＞  
伊東建設関連業者連絡協議会に建築士会が参加することで、行政や建設関連業界との意見

交換や交流を目的とする。

＜開催時期・場所＞

29. 6. 26 (月) 伊東商工会議所

＜参加人数＞

3名

＜事業内容＞

都市計画審議会の参加、情報交流を目的とした懇親会

＜事業効果＞

伊東地区内の建設関係他団体の代表者、行政担当者との現況、将来への展望等の建設関連業者相互の意見交換ができた。

- ・伊東市技能祭り 2017

＜事業目的・趣旨＞

伊東市の要請により伊東市技能祭りに建築士会から講師を派遣し、地域貢献を行なう。

＜開催時期・場所＞

29. 9. 3 (日) 伊東市役所

＜参加人数＞

2名

＜事業内容＞

伊東市職業訓練校主催技能祭への参加

＜事業効果＞

小学生～高齢者まで多くの来場者があった。各ブースに建設関連の他団体の体験コーナー等が設けられ、建築士会伊東地区会員の建築相談コーナーも設ける等、地域に建築専門家として建築士会の貢献をアピールできた。

- ・意見交換会

＜事業目的・趣旨＞

伊東地区会員の意見交換会を行うことにより会員相互の親睦を図る。

＜開催時期・場所＞

29. 12. 15 (金) 伊東市

＜参加人数＞

10名

＜事業内容＞

会員の親睦・情報交換の為の意見交換会

＜事業効果＞

伊東地区事業等に対する意見、今後の要



望、次年度の事業計画等様々な考えを協議でき伊東地区における様々な意見交換ができた。

### (3) 熱海地区

#### ・建築相談、応急危険度判定士訓練

<事業目的・趣旨>

熱海市から要請による「防災訓練」及び「建築相談」への対応

<開催時期・場所>

防災訓練 29.9.3(日) 熱海市役所

建築相談 毎月第3火曜日 市民相談室

<参加人数>

防災訓練 4名

建築相談 毎月1名

<事業内容>

・熱海市総合防災訓練の一環として行われる  
応急危険度判定訓練

・建築士として市民の建築相談

<事業効果>

市内全体で防災訓練を行っている中で机上ではなく実際の建物を使うことで、より臨場感のある訓練となった。また、専門的な活動の場で建築士会の存在を市にアピールすることができた。

#### ・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)

(研修内容は三島地区に記載)

#### ・三地区合同研修見学会(賀茂・伊東・熱海地区)

(研修内容は賀茂地区に記載)

#### ・意見交換会

<事業目的・趣旨>

会員の意見交換、熱海地区の活動報告、今後の活動内容を議論する。

<開催時期・場所>

29.10.12(木) 熱海市

<参加人数>

11名

<事業効果>

地区内の親睦を高めるとともに建築士としての知識向上や研鑽に役立つ情報を得た。

### (4) 三島地区

#### ・三地区合同研修会(伊東・熱海・三島地区)

(士会、士事協、建設業合同研修)

<事業目的・趣旨>

三島建設業協会会員会社(建設施工会社)

と意見交換し、お互いの工事に対する問題点等を話し合う機会をつくる。

<開催時期・場所>

29.9.15(金) 富士宮市

<参加人数>

伊東地区 2名

熱海地区 1名

三島地区 7名

<事業内容>

富士山世界遺産センター施工現場等見学

<事業効果>

近々開館予定の「富士山世界遺産センター」施工現場、富士宮市内の伝統建物を見学・研修したことにより、知識を深めるとともに他団体の会員と情報交換ができ相互の理解を深めることができた。

#### ・第1回意見交換会

<事業目的・趣旨>

地区会員及び賛助会員意見交換及び今年度事業計画を報告する。

<開催時期・場所>

29.7.21(金) 伊豆市

<参加人数>

20名

<事業内容>

東部ブロック及び三島地区事業計画の報告、会員相互の情報交換賛助会員による最新情報の提供等について意見交換を行う。

<事業効果>

今年度のブロック事業・地区事業計画及び会員の近況、情報等の交換など意見交換ができた。

#### ・建築展

<事業目的・趣旨>

建築相談、耐震補強相談等を行うことにより建築士会をアピールする。

<開催時期・場所>

29. 11. 12 (日) 三島市民体育館

<参加人数>

14名

<事業内容>

建築相談、耐震補強相談、子供対象ペーパークラフト鉋掛体験

<事業効果>

建築相談、耐震補強相談について、具体的に詳しい説明ができ、子供を対象としたイベントにより、親御さんを取り込んで広報することができた。ペーパークラフト(建物)や鉋掛などを体験してもらい、子供たちに建築に対する興味を持たせることができた。

・第2回意見交換会

<事業目的・趣旨>

地区会員及び賛助会員意見交換会

<開催時期・場所>

29. 11. 12 (日) 三島市

<参加人数>

12名

<事業内容>

近況報告、最近の問題についての親睦事業

<事業効果>

建築展での建築相談及び耐震補強相談を受け、耐震の考え方や方向性などの課題に対し、意見交換をすることにより各自の考え方や方向性などの課題に対し、違いや共通するところなど再認識することができた。

・第3回意見交換会及び新年会

<事業目的・趣旨>

地区会員の研修

<開催時期・場所>

30. 1. 26 (金) 伊豆市

<参加人数>

28名

<事業内容>

懇親を兼ねて近況報告、最近の問題について話し合う。

<事業効果>

ブロック事業・地区事業の報告及び連絡事項の確認。会員・賛助会員の近況報告、情報交換、事業への積極的な参加呼びかけ等有意義な意見交換ができた。

(5) 沼津地区

・沼津市市民建築相談

<事業目的・趣旨>

沼津市民の建築に関する相談

<開催時期・場所>

毎月第二火曜日 沼津市市役所

<参加人数>

毎月1名

<事業内容>

沼津市民の建築に関する相談を受け、建築士としての立場でアドバイスを行う。

<事業効果>

住民の安心・安全に寄与すると共に、沼津市の広報誌に掲載されるなど、建築士及び建築士会活動をアピールできた。

・春の会(地区事業報告会)

木造ラーメン+CLT 構造事務所建築完成見学会

<事業目的・趣旨>

地区事業の1年間の運営結果及び次年度の運営方針を報告

<開催時期・場所>

29. 5. 26 (金) 沼津市

<参加人数>

15名

<事業内容>

1年間の事業及び決算報告・次年度の事業計画及び予算の報告・意見交換

CLT 構造の視察

<事業効果>

地区の昨年度の事業及び今年度の事業計画を報告し、意見交換を行った。

CLT 構造の建築を視察し、新工法について可能性を考えることができた。

## ・研修見学会

### <事業目的・趣旨>

建築知識の向上を図るとともに会員の情報交換を目的とする。

### <開催時期・場所>

29.12.6(水) 神奈川県

### <参加人数>

15名

### <事業内容>

ヨコスカ軍港、横須賀美術館等見学

### <事業効果>

建築技術の習得と参加者相互の情報交換ができた。

## ・ボウリング大会

### <事業目的・趣旨>

地区会員親睦・意見交換

### <開催時期・場所>

30.3.9(金) 沼津市

### <参加人数>

ボウリング大会 24名

意見交換会 25名

### <事業内容>

会員の親睦を図り、各自の近況及び本会の動向を説明

### <事業効果>

本会、東部ブロックの活動状況を報告し、会員増強への協力も依頼。会員相互の親睦や情報交換の機会を得るとともに、建築士会事業への理解を深めることができた。

## (6) 裾野地区

### ・会員交流納涼会

#### <事業目的・趣旨>

情報交換、会員相互の親睦

#### <開催時期・場所>

29.8.25(金) 裾野市

#### <参加人数>

8名

#### <事業内容>

会員同士の親睦事業

#### <事業効果>

会員相互の親睦、情報交換、近況報告、地区活動の理解が深まった。

## ・研修見学会

### <事業目的・趣旨>

建築物や新しい技術などの視察研修を行い建築士として資質向上と学識を深める。

### <開催時期・場所>

30.1.29(月) 高尾山方面

### <参加人数>

10名

### <事業内容>

深大寺 北法指定釈迦如来像の視察

### <事業効果>

歴史的建造物 高尾山 薬王院 深大寺などを見学し、建築物に対する学識を深めるとともに、建築技術の向上に繋がった。

## ・建築無料相談

### <事業目的・趣旨>

裾野市役所 4階会議室にて、各種資格団体と協同で無料相談を行う。市役所で行うことにより一般市民の方が気軽に相談できる場所を提供し、建築PRにもなる。

### <開催時期・場所>

4・6・8・10・12・2月 第4月曜日

### <参加人数>

6団体相談員6名

### <事業内容>

宅建協会、司法書士会、行政書士会、土地家屋調査士会、マンション管理士会、建築士会の6団体で無料相談を行う。

### <事業効果>

市民の方が使用している住宅、建築物その他の疑問に思っていることに対し相談を受け、安心して使用できるよう問題点の解決に努めた。

また、耐震補強などの普及促進を図った。

## (7) 御殿場地区

### ・三合同研修会

#### <事業目的・趣旨>

業務の円滑及び会員のスキル向上を図る。

#### <開催時期・場所>

29. 7. 11 (火) 御殿場市民会館

<参加人数>

46名

<事業内容>

御殿場市・小山町広域行政組合の各担当者の行政実務講習

<事業効果>

会員の行政実務に対する業務の適正化とスキルの向上を図ることができた。

#### ・新年賀詞意見交換会

<事業目的・趣旨>

首長を交えた会員の情報交換会

<開催時期・場所>

30. 1. 23 (金) 御殿場市

<参加人数>

17名

<事業内容>

御殿場市長に出席していただき、地区会員とともに今年度の反省点や新年度への展望や要望、地域発展の為に地区会としてできること、やるべきことについて出席者の奇譚のない意見交換を行う。

<事業効果>

今後の市関係事業等の説明を受けるとともに、会員間の親睦を図ることができた。

### (8) 富士地区

#### ・富士市キッズジョブ事業

<事業目的・趣旨>

主に小学生を対象にペーパークラフトを使い立体的な家を作ってもらうことによりものづくりの楽しさ、建築というものに対して興味を持ってもらう。また親御さんに対しては「建築士の仕事」のPRを行うことで建築士という職業を理解してもらう。

<開催時期・場所>

29. 8. 19~20 (土、日) ふじさんめっせ

<参加人数>

会員 16名 一般 242名

<事業内容>

「夢のおうちをつくろう」のテーマのもと、ペーパークラフトで家を作ってもらう。同時に「建築士の仕事」のPRパネルの展示、会員の作品展示等も行う。

<事業効果>

実参加人数は、2日間の開催で建築士会ブースに延べ242名の一般来場者があり、予定の130名を大幅に超え、地域に「建築士の仕事」に対するPRを周知し、理解を広く深めてもらう機会となった。

#### ・会員意見交換会交流会

<事業目的・趣旨>

建築士会の組織全般に関する意見交換を行い、組織の今後の運営、活動等に生かしていくことにより、より良い建築士会を作り上げる。

<開催時期・場所>

30. 1. 16 (火) 富士市

<参加人数>

25名

<事業内容>

会員の増強、会員意識啓発、会員資質の向上、会員親睦、福利厚生に関する事項等々、幅広いテーマにそって意見を出し合い議論する。

<事業効果>

富士地区会員への今年度建築士会活動の周知を行い、今後の活動について意見交換ができた。また、次期地区役員の推薦については、現地区役員による協議による旨決定した。

#### ・富士地区講習会

<事業目的・趣旨>

静岡の木を要所に使用した富士山世界遺産センターを見学。また、木造建築に関する講習会を一般にも向け開催することで、業務に関する有用情報の取得機会を設け会員資質の向上を目指す。

<開催時期・場所>

30. 3. 6 (火) 富士山世界遺産センター

## 富士宮市民文化センター

### <参加人数>

58名

### <事業内容>

昨年12月にオープンした、富士山世界遺産センターを見学。その後、身近な災害である火災について安井昇氏を講師としてお招きし、「火災に負けない木造建築をつくる」をテーマに会員を中心に一般も対象の講習会を開催。

### <事業効果>

業務に関する有用情報の取得機会を設け会員の資質の向上が図れた。

## ・まちづくり研修見学会

### <事業目的・趣旨>

個々の建築を包括する総合的な「まちづくり」に関する幅広い分野の知識を深めることによる会員の資質の向上、並びに「まちづくり」への参画可能な人材育成を目指す。

### <開催時期・開催場所>

30.2.3(土) 東京深大寺、江戸東京たてもの園

### <参加人数>

20名

### <事業内容>

東京深大寺周辺のまちづくりを見学後、江戸東京たてもの園内の建物を題材にして学芸員による講習会を開催し実践的な「まちづくり」に関する知識を深める。

### <事業効果>

建築を含む総合的で幅広い知識が必要な「まちづくり」に関する知識が深まり、会員の資質の向上に繋がった。また、「まちづくり」に関するより専門的・実践的な知識を習得することができた。

## b 中部ブロック

### 1 会員厚生委員会

#### ア. 全国大会京都大会

##### <事業目的・趣旨>

京都大会へ参加し、大会事業に協力すると共に、京都府建築士会との交流を図る。

### <開催時期・場所>

29.12.8(金)～9(土) 京都市

### <参加人数>

32名

### <事業内容>

1泊2日の行程により、京都大会参加、並びに京都府の文化・歴史・建築に接する。

### <事業効果>

京都府建築士会会員並びに地元の人々との交流並びに相互理解を深められた。

## イ. ブロック報告会

### <事業目的・趣旨>

本年度事業活動内容を、中部ブロック正会員並びに賛助会員に報告

### <開催時期・場所>

30.3.2(金) 静岡市産学交流センター

ザ・ガーデンシティオ(懇親会)

### <参加人数>

報告会・懇親会各53名

### <事業内容>

本年度事業活動内容の報告、来年度事業予定内容、及び委員会・地区会報告。

### <事業効果>

中部ブロックの活動内容を理解、並びに会員相互の親睦を深めることができた。

## 2 事業研修委員会

### ア. 2級建築士製図講習会

#### <事業目的・趣旨>

建築士会のPRと会員募集案内

#### <開催時期・場所>

7.9(日) 7.16(日) 7.30(日) 8.6(日)

8.20(日) 8.27(日) 9.3(日)

労政会館及びアザレア貸し会議室

#### <参加人数>

受講人数3名内合格者1名

#### <事業内容>

2級建築士製図試験受験者に製図試験の図面作成の方法を指導するとともに、2級建築士の育成を行う。

#### <事業効果>

受験生と講師という堅い信頼関係を構築するとともに、建築士会をPRすることにより会員拡大が期待できる。

## イ. 建築相談

<事業目的・趣旨>

建築市民相談

<開催時期・場所>

- ・清水区役所（毎月第2火曜日）
- ・静岡区役所（毎月第1・第3火曜日）
- ・あんしん住まい相談  
清水社会福祉会館（毎月第2第4木曜日）  
静岡城東保健福祉エリア リハ・パーク
- ・あんしん建物相談室 ミーナ葵  
葵タワー7階（毎月第2第4水曜日）

<相談員数>

各回1名

<事業内容>

市民を対象とした無料の建築相談会

<事業効果>

市民の安心・安全な住環境の向上に資することができた。

## 3 青年企画委員会

### ア. 青年大会 青年大会参加（継続事業）

<事業目的・趣旨>

各ブロック間の青年同士の交流、懇親を主目的とし、青年の活動について、ワークショップを開いたり、その土地の建物見学、勉強会などを行う。

<開催時期・場所>

中部ブロック主催  
29.9.9（土）静岡市浅間神社・  
清水区次郎長生家・浮月楼見学

<参加人数>

20名

<事業内容>

東部、中部、西部の青年建築士が集い建築の勉強とともに歴史を学び、同じ立場での考え方や発言にふれ、刺激し合う交流を行う。

浅間神社、次郎長を題材に静岡の歴史の中の建築について学ぶ。

<事業効果>

各ブロック青年委員間の情報交換と各ブロックの現在の状況・情報を共有できた。青年同士の繋がり、懇親を図ることができた。

### イ. 東海北陸ブロック多治見大会

<事業目的・趣旨>

東海北陸ブロックで毎年開催される青年大会への参加、今年度は岐阜県が幹事県となる。

<開催時期・場所>

30.2.17（土）、18（日） 岐阜県多治見

<参加人数>

5名

<事業内容>

全体会議・ワークショップ・懇親会・町歩きセラミックパーク MINO・タイル工場等見学、陶芸、茶席体験など

他県の青年活動内容をより深く知ることができ、活動している当人と直接情報交換ができる。

<事業効果>

各県の建築士同志の繋がりを作ることができた。

### ウ. 他ブロック青年企画委員会事業体験

<事業目的・趣旨>

西部ブロック青年企画委員会の建築士会のPRの手法等を見て感じ、その後の中部ブロックでの委員会活動に生かし、ブロックの建築士の資質向上・会員拡大に繋がる事業計画の内容充実を目的とする。

<開催時期・場所>

29.8.26（土）川根温泉ホテル施設見学

<参加人数>

1名

<事業内容>

一級建築士製図試験課題建物見学研修会の運営・参加

<事業効果>

受験者は比較的若い世代が多いため年齢の近い青年委員会が行うことにより建築士会を身近に感じてもらえ、建築士会のPRに繋がった。

### エ. 青年企画勉強会

<事業目的・趣旨>

中部ブロック各地区の青年企画委員が勉強会を企画し、会員の資質の向上を図り、会員外への建築士会のPRをする。

<開催時期・場所>

第1回 29.8.26（土）産学交流センター  
地盤勉強会

第2回 30.3.16（土）さいたま方面  
そなエリアにて防災体験勉強会

<参加人数>

第1回 9名

第2回 15名

<事業内容>

建築士として必要性のあるものや、興味深いテーマについて勉強会を運営する。

<事業効果>

会員の資質向上に繋がる勉強会となった。  
また、非会員に建築士会をPRすることができた。

#### 4 広報情報委員会

<事業目的・趣旨>

建築士会のホームページを活用し、中部ブロックの活動を積極的に社会へ公開していく。

<事業内容>

ブロック協議会で承認された事業（活動）を必要に応じ建築士会ホームページの中部ブロックに掲載する。

<事業効果>

公益社団法人としての必要な情報を積極的に社会へ公開していくことで、建築士会への理解を深め興味を持ってもらうことが期待される。

#### 5 まちづくり委員会

##### ア. 研修見学会

<事業目的・趣旨>

古い町並みを見学することにより今後のまちづくり活動に活かしていく。

<開催時期・場所>

29. 11. 23(木) 横浜市、横浜三塔物語見学

<参加人数>

40名

<事業内容>

一般市民を募り、バスにて横浜町並みの見学会開催。昭和初期の建物をボランティアガイドによる説明を聞き、建物と町並みについて見学した。

<事業効果>

一般市民を対象としたことで建築やまちづくりに対して興味を持ってもらえた。募集をするにあたり、各方面にチラシを配布することにより、参加者以外にも建築士会の存在を知ってもらえた。

毎年参加していただける一般の方も何名かはいたので、今後も継続していくことが大事であると感じた。

#### イ. 市民講座 (1)

<事業目的・趣旨>

次世代に継承したい歴史や文化を考える。

<事業内容>

静岡たてもの探検と町歩き

場所 静岡市清水区美濃輪町 4-16

日時 29. 9. 24 (日)

参加人数 14人 (主に静岡科学技術高校 10名)

・協力 特定非営利活動法人 地域づくり

サポートネットの方々

杉山智之建築事務所 杉山 智之氏

<事業内容>

静岡科学技術高校 建築研究部の皆さんと昨年の市民講座の反省会を行った際に、自分たちは建築の勉強をしているが、「実際の現場を見てみたい!」、「プロの話を知りたい!」、「いろんな建築を見てみたい!」という多くの声があった。

そんな時、元まちづくり委員のメンバーである杉山智之氏が設計を担当した「清水の次郎長生家」の耐震改修工事が行われている最中であったことから、高校生達に工事中の現場と完成後を見学してもらい、次郎長生家周辺の町歩きもしようというのが元々の趣旨であった。ただ、現場の状況と時期から工事中的の見学は難しいため完成後の次郎長生家の見学と、次郎長にまつわる清水のまち歩きを催すことになった。

<事業の効果>

ワークショップによる高校生からの意見をまとめたところ

・次郎長通りの現在と今後の発展について  
・巴川付近の史跡、地形、蔵、次郎長生家の魅力、まちに案内所や休憩所が足りないこと、倉や空家の利用方法など、さまざまな貴重な意見があった。

今後、科学技術高校の生徒達の協力を得て、市民の方々に静岡のまちの魅力を広める活動を行なっていきたい。

#### イ. 市民講座 (2)

<事業目的・趣旨>

次世代に継承したい歴史や文化を考える。

<事業内容>

東海道ウォーキングと駿府城跡天守台発掘現場の見学

・場所・・・駿府城公園

- ・日時・・・3月3日（土）
- ・参加人数 30名（一般含む）

静岡鉄道春日駅前から駿府城公園までの古地図を基に東海道ウォーキング行い、公園を散策し、駿府ウェブのボランティアガイドの解説により駿府城跡天守台発掘現場を見学する。

<事業効果>

自分たちの地域を実際に歩くことにより、知らなかった発見があり、今後のまちづくり活動に繋げるヒントを得ることができた。

**ウ. 地域貢献・まちづくり会議 支援**

<事業目的・趣旨>

まちづくり会議に参加し、各地のまちづくりを学ぶ。

<開催時期・場所>

30.3.3（土）鴨江アートセンター（浜松）

<事業内容>

昭和の建物を見学、倉方俊輔講演会、シンポジウム交流会への参加

<事業効果>

各地のまちづくりを学び、他のブロックの方と交流し、次年度の活動に繋げることができた。

**中部ブロック地区事業**

**(1) 清水地区**

**・清水みなと祭り**

<事業目的・趣旨>

清水地区会員相互の親睦・市民との交流

<開催時期・場所>

29.8.5（土） 静岡市清水区

<参加人数>

10名

<事業内容>

清水市伝統の港かっぱれ総踊りに参加

<事業効果>

清水地区会員の結束の強化と建築士会のPRを行った。

**・第26回職人まつり**

<事業目的・趣旨>

他団体・市民との交流

<開催時期・場所>

29.9.24（日） 静岡市清水区

<参加人数>

6名 静岡市役所建築指導課3名

<事業内容>

建築指導課と組んで“わが家の耐震診断”の啓発を行なう。

<事業効果>

“わが家の耐震診断”について市民へのPRと相談を行い耐震対策の一助となった。

**・福祉のまつり**

<事業目的・趣旨>

他団体・市民との交流

<開催時期・場所>

29.9.24（日） 静岡市清水区

<参加人数>

6名

<事業内容>

避難所生活における問題点のフォロー

<事業効果>

地域との交流・建築士会のPRができた。

**・まち育て講座**

<事業目的・趣旨>

地域住民との交流、地域防災の学習

<開催時期・場所>

静岡市清水区

29.11.30（木）

<参加人数>

5名

<事業内容>

高部小学校の子供たちと防災について学習

<事業効果>

地元の子供たちと交流し、質問等を受け理解してくれるまで話し合うことができた。

**・研修会**

<事業目的・趣旨>

省エネ法他の改正事項講習

<開催時期・場所>

29.9.15（金） グランシップ

<参加人数>

総計20名



<事業内容>

まちづくりセンターから講師を招き、確認申請や各検査の注意事項、省エネ法等の改正事項の講習を行なう。

<事業効果>

申請業務等の勉強は有意義であり、確認や検査時の注意点を学べた。

・地域報告会 (2回)

<事業目的・趣旨>

活動計画の報告・会員相互の親睦

<開催時期・場所>

29.9.15(金)～30.1.27(土)

<参加人数>

総計39名

<事業内容>

清水地区会員相互の親睦

<事業効果>

活動の計画及び報告を行なうとともに会員の懇親会が図れた。

・耐震無料相談会 (11回)

<事業目的・趣旨>

清水地区の耐震補強物件の掘り起し

<開催時期・場所>

6/2.24.25、7/22.29、8/12.27、9/15.24、10/28、11/11

各交流館・イベント会場

<参加人数>

各3名～8名

<事業内容>

市役所より対個別に連絡して対象者に対して相談会を実施する。

<事業効果>

無料診断の件数が昨年度に比べて伸びている。

(2) 静岡地区

・会員増強事業 (新入会員オリエンテーション)

<事業目的・趣旨>

新入会員への組織体系の説明

<開催時期・場所>

29.7.28(金) 静岡市産学交流センター

<参加者>

17名 (対象者4名含む)

<事業内容>

新入会員へ建築士会の組織体系を説明し、会員活動への参加呼びかけ、質疑応答などを行う。

<事業効果>

建築士会員となっても会員活動の取り組みが不明などの声もあることから、直に会って説明する機会を作ったことで相互理解も深まり、今後の活動参加を促すことができた。

・技術研修事業 (地区勉強会)

<事業目的・趣旨>

会員の自己研鑽を図る。

<開催時期・場所>

29.9.19(火) 静岡浅間神社

<事業内容>

平成の大修理が行われている静岡浅間神社の現場見学会の第2回目、今回は少彦神社本殿の修理現場を見学する。

<事業効果>

多くの重要文化財を有する静岡浅間神社内の本殿を近くで見学できる良い機会となった。文化財修理に携わる職人に直接解説いただき、保存修理の難しさなどを聞くことができた。

・技術研修事業 (建築視察事業)

<事業目的・趣旨>

会員の自己研鑽を図る。

<開催時期・場所>

29.10.2(日) 国立新美術館及び周辺

<参加人数>

21名

<事業内容>

国立新美術館で開催された建築家「安藤忠雄展」の見学と六本木周辺の町並みをガイドの案内で散策。

<事業効果>

国立美術館自体が建築物として見どころ

でもあった。また、アートな町並みを標榜する周辺を地元ボランティアガイドの案内で散策し、新たな発見もあった。

建築士同士で建築物を見て廻り意見を交わすことで自己研鑽が図れた。

### (3) 志太地区

#### ・親睦事業（ママチャリグランプリに参加）

<事業目的・趣旨>

自転車レースに参加することにより地区会員間の交流・親睦を深める・建築士会のPRができる。

<開催時期・場所>

30.1.6～7（土、日） 富士スピードウェイ

<参加人数>

30名

<事業内容>

富士スピードウェイにて開催のママチャリ自転車レースに参加。

静岡県建築士会のネーム入りのぼり旗・ブルゾンによるPR活動。

<事業効果>

会員間の親睦が得られ建築士会のPRもできた。

#### ・技術研修事業「第1回、2回外皮計算勉強会」

<事業目的・趣旨>

会員の技術及び知識の向上

<開催時期・場所>

29.11.3（金）藤枝青島南地区交流センター

<参加人数>

30名

<事業内容>

一般的な木造2階建て専用住宅をモデルに建物の外皮性能を計算の仕方を勉強する。

<事業効果>

会員の技術及び知識の向上及び情報交換ができた。

#### ・親睦事業〈志太地区報告会&懇親会〉

<事業目的・趣旨>

地区活動の周知及び会員間の交流を深める。

<開催時期・場所>

30.3.25（日）

<事業内容>

29年度地区活動を地区会員に説明報告

<事業効果>

地区会員に事業の周知及び今後の積極的な参加が期待できる。

#### ・地区会

<事業目的・趣旨>

地区の活性化推進

<開催時期・参加人数・場所>

第1回 29.5.30（火） 6名

第2回 29.7.12（水） 6名

第3回 29.8.16（水） 5名

第4回 29.10.4（水） 5名

第5回 29.11.9（木） 5名

第6回 30.1.16（火） 7名

各回 サンライフ藤枝

<事業内容>

地区事業の調整

<事業効果>

地区活動に対する意見交換ができ、地区の活性化に繋がった。

### (4) 榛原地区

#### ・地区勉強会・講習会省エネ基準適合義務化からはじまる

<事業目的・趣旨>

第1回 地区会員の資質向上のための講習会

第2回 昨今の建築業界事情及び状況と実務

に即した法令の取り扱いについて

<開催時期・場所>

第1回 29.8.25（金）吉田町 中央公民館

第2回 30.1.27（土） 静波防災センター

<参加人数>

第1回 22名

第2回 17名

<事業効果>

第1回 省エネ法適用に際して省エネ適判の利用法など実務に即する説明を

聞くことで、スキルアップに繋がった。

第2回 業務に必要な最新の法令等の知識を習得できた。

#### ・地区交流会

<事業目的・趣旨>

会員相互の情報交換と親睦を通じ、士会活動の活性化を図る。

<開催時期・参加人数・場所>

第1回 29. 8. 25 (金) 21名

第2回 29. 12. 13 (水) 17名

第3回 30. 1. 27 (土) 18名

牧之原市静波 片岡会館

<事業内容>

地区内での交流会

<事業効果>

会員相互(正会員、賛助会員)の親睦と情報交換ができたことで地区の活性化が図られた。

#### ・地区会

<事業目的・趣旨>

地区の活性化促進

<開催時期・場所>

第1回 29. 5. 11 (木) 10名

第2回 29. 7. 19 (水) 12名

第3回 29. 11. 17 (木) 11名

第4回 29. 12. 13 (水) 20名

各回 静波防災センター

<事業内容>

建築士会活動・ブロック活動の内容を地区会員に伝え情報の共有を図る。課題等の意見交換。

<事業効果>

地区会を開くことにより地区会員からの意見をブロックに伝えることができた。

#### ・視察研修見学会事業

<事業目的・趣旨>

有名建築家の設計した建築物に触れることで、建築士としての知識見分を深めるとともに、会員相互の交流を深める。

初めての試みとして勉強会、新年会、研修見学を同時に行う。

<開催時期・場所>

29. 1. 27~28 (土、日)

富士山世界遺産センター

アカオハーブガーデン

国立競技場建設現場

天王洲アイル

アサヒビール神奈川工場

<参加人数>

18名

<事業内容>

坂茂氏設計の富士山世界遺産センターの見学や天王洲アイルアートウォークで日本唯一の建築設計ミュージアム等の見学を行う。

<事業の効果>

会員相互の情報交流を深めるとともに、最新の建築技術の見学により資質の向上が図られた。

### c 西部ブロック

#### 1 会員厚生委員会

##### ア. オリエンテーション

<事業目的・趣旨>

建築士会の組織の説明と会員活動の推進

<開催時期・場所>

29. 4. 1 (土) ~ 30. 2. 3 (土)

西部ブロック事務局

<参加人数>

正会員 5名 賛助会員 0社

<事業内容>

新人会員へ会の活動目的や組織体制等の説明を行うとともに、各委員会活動の紹介を行い、入会後の円滑な委員会活動への参加を促す。

<事業の効果>

円滑な委員会活動への参加が図られた。

##### イ. 会員親睦会 家族ふれあいたい会

<事業目的・趣旨>

会員・家族の交流促進

<開催時期・場所>

29. 8. 22 (日) 渚園キャンプ場

<参加人数>

58名

<事業内容>

会員とその家族等の参加でバーベキュー、ゲ

ームなどを行い、それぞれの親睦を深める。

<事業の効果>

会員と家族との交流や委員会の垣根を越えた会員相互の交流を通じて、ブロック全体の親睦が図られた。

## ウ. 新年懇親会

<事業目的・趣旨>

会員の親睦事業

<開催時期・場所>

30. 1. 19 (金) ホテルクラウンパレス浜松

<参加人数>

69名

<事業内容>

新年を迎え会員間の情報交換を行うとともに会員相互の親睦を深める。

<事業の効果>

各種団体の代表の方や会員相互の交流が図られた。

## 2. 事業研修委員会

### ア. 技術見学会

<事業目的・趣旨>

新施設・新旧技術・歴史的建造物を、バスでの日帰り見学ツアーの企画・運営

<開催時期・場所>

29. 7. 28(金)

TOTOマテリアル土岐工場、モザイクタイルミュージアム、本町オリーブストリート

<参加人数>

37名

<事業内容>

「TOTO マテリアル土岐工場」：光触媒建材の性能説明・体感と「モザイクタイルミュージアム」：モザイクタイルの魅力・美しさを体験「本町オリーブストリート」：明治から昭和初期にかけて美濃焼の陶磁器問屋物の見学を企画

<事業の効果>

建築士として必要な新旧技術・新知識を学ぶことができた。

### イ. 各種講習会

<事業目的・趣旨>

建築士を対象とした講習会の企画・運営

<開催時期・場所>

29. 11. 17(金) 浜松テクノカレッジ

<参加人数>

21名

<事業内容>

「建築分野におけるドローンの活用と操作体験」講習会

<事業の効果>

産業分野でのドローンの利用状況・法規制等を学び、建築分野での活用として、現調・測量等について学び知識向上が図られた。

## ウ. 建築探訪

<事業目的・趣旨>

全国大会見学を兼ね、歴史的建造物・世界遺産の建物見学と、その土地の文化に接する、一泊二日の見学研修の企画・運営

<開催時期・場所>

29. 12. 8(金)～9(土)

<< 1日目 >>

月桂冠大倉記念館、みやこめっせ（全国大会々場）

<< 2日目 >>

サントリー山崎蒸留所、大山崎山荘美術館、平等院鳳凰堂、鳳翔館

<参加人数>

30名

<事業内容>

「月桂冠大倉記念館」にて昼食及び施設内見学、「みやこめっせ」にて、全国大会見学と周辺建物散策、「サントリー山崎蒸留所」にて蒸留所観賞。「大山崎山荘美術館」にて施設建物と展示物観賞。「平等院鳳凰堂、鳳翔館」にて世界遺産に触れた。

<事業の効果>

全国大会の規模・すばらしさを実感し、歴史的建造物・世界遺産の建物を見学し、建築士としての知識の向上に努めた。また会員同士の親睦を深めることができた。

## エ. 女性部準備

<事業目的・趣旨>

女性建築士の交流と知識の向上と、女性会員増強を目的とする。

<開催時期・場所>

30. 3. 20(火) 遠鉄モール街ビル Any

<参加人数>

20名

<事業内容>

女性建築士として、働く時に直面する、育

児・介護・家庭・再就職等の悩み不安など、働き方のアドバイスや経験談などの意見交換会を企画

<事業の効果>

女性からの目線や悩み・不安・独立等意見交換ができ、女性同士の親睦も深めることができた。

### 3 青年企画委員会

#### ア. 浜松工業高校交流会

<事業目的・趣旨>

建築科生徒に、若手建築士との交流を通じて、建築の仕事に関心を深めてもらう。

建築士の仕事の多様性を示し、さまざまな将来が開けていることを知ってもらう。

<開催時期・場所>

29. 11. 17 (金) 静岡県立浜松工業高校  
会議室 対象：同校建築科2年生

<参加者人数>

青年企画委員会参加者：7名

<事業内容>

- ・建築士の仕事や建築に関することについて、発表者3名に合計約1時間発表してもらう。
- ・発表後、生徒と委員会員でグループに分かれて、グループワークを行い交流を深める。
- ・質疑応答を行い、グループワークで出た話の紹介や質問に委員会員が答える。

<事業の効果>

建築士を目指す若者の育成のため、建築士及び建築士会のPRを行った。この中から資格取得者が生まれ、新規会員となることを期待したい。

#### イ. 天竜高校交流会

<事業目的・趣旨>

職業講和として交流会を行う。建築業界の社会事情や仕事の魅力を聞いてもらい、建設業について興味・関心を持ってもらう。そして、社会人としての責任や生活についての体験談を聞き、今後の進路選択の一助としてもらう。

<開催時期・場所>

30. 1. 17 (火) 静岡県立天竜高等学校 教室  
対象：同校1年次生 建築系列

<参加人数>

青年企画委員会参加者：5名

<事業内容>

- ・仕事に対する心構えややりがい、楽しみ、体験談などについて参加者全員が発表
- ・発表後、生徒と委員会員でグループに分かれて、グループワークを行い交流を深める。
- ・質疑応答を行い、グループワークで出た話の紹介や質問に委員会員が答える。

<事業の効果>

建築士を目指す若者の育成のため、建築士及び建築士会のPRを行った。この中から資格取得者が生まれ、新規会員となることを期待したい。

#### ウ. 全国建築士フォーラム

<事業目的・趣旨>

全国大会前日に開催される全国建築士フォーラムへの参加を目的とする。

全国の建築士会青年委員の活動報告を通し、自県の今後の活動の参考とする。

<開催時期・場所>

29. 12. 7 (木) 京都市勧業館『みやこめっせ』他

<参加人数>

青年企画委員会参加者4名

<事業内容>

- 1) 会場内で発表事例のパネル展示
- 2) 各ブロック代表による全体発表
- 3) テーブルワークショップ (3回)
- 4) 投票及び表彰 (アワード)

<事業の効果>

他県の活動の報告を受け、今後の青年企画委員会の活動の参考とすることができた。

また、他県の青年企画委員との貴重な交流の場となった。交流を通じて建築士としての資質の向上につながった。

#### エ. 青年大会

<事業目的・趣旨>

静岡県の青年建築士会会員が一堂に会し、ブロック毎の事業や取組についての報告、新規会員の取り込みのための方法等について話し合いをし、県内の青年会員の交流を図るとともに、見学研修を通して青年建築士の資質向上を図る。

<開催時期・場所>

29. 9. 9 (土) 静岡市

<参加人数>

青年企画委員会参加者 5名

<事業内容>

見学会（次郎長生家、静岡浅間神社）

親睦会（浮月楼見学付）

<事業の効果>

ブロックの事業報告から課題を見つけ、情報を共有することでブロックの垣根を越えた活動へ繋げることができた。見学研修を通じて建築士としての資質の向上につながった。

#### オ. 一級建築士製図課題建物見学研修会

<事業目的・趣旨>

昨今の会員減少問題に対して、これから資格をとる方への建築士会のアピールを目的とした研修会。一級建築士の製図課題に沿う建物を見学することで、各自の試験合格への一助とし、その後の入会へつなげていく。

<開催時期・場所>

29. 8. 26（土）

川根温泉ホテル（島田市）

<参加人数>

参加者：3名（受験者又は受験見込み者）

青年企画委員会参加者：5名

<事業内容>

平成29年度一級建築士試験

「設計製図の試験」課題

『小規模なリゾートホテル』

施設の管理者へ依頼し、建物の見学研修会を行った。道中をバス移動とし、試験への心構え・体験談を委員から参加者へお話しした。

建築士会の組織・活動についての説明を行い、募集案内を行った。

<事業の効果>

受験者への合格の一助となる研修会ができた。受験者との交流、入会への案内をし、建築士会のアピールの場となった。

#### カ. 東海北陸ブロック会議

<事業目的・趣旨>

この大会は、東海北陸7県の青年建築士・女性建築士が一堂に会し、各県で行われている地域実践活動の発表・報告及び、地域を知ってもらう活動を行うことで、建築士としての資質の向上を図るものである。本大会は各県持ち回りで行われており、今年度は福井県が担当県となり、敦賀市にて開催された。

<開催時期・場所>

30. 2. 17（土）～2. 18（日）

メイン会場 セラミックパークMINO

<参加人数>

青年企画委員会参加者：4名

<事業内容>

テーマ：「価値の再発見」

～身近な地域資源を再確認し 活かし

未来に繋げる～

1日目 開会式

分科会

・タイル工場見学

・モザイクタイルミュージアム見学

・陶芸体験、茶席体験と講話

報告会

・各県活動報告

・連合会青年委員会報告

・近畿ブロック青年部活動報告

懇親会

2日目 青年建築士協議会

・ワークショップ

・発表

閉会式

<事業の効果>

建築士を取り巻く最近の状況など、有意義な意見交換が図られるとともに、資質の向上につながった。

### 4 広報情報委員会

#### ア. 西部ブロック活動報告まとめ

<事業目的・趣旨>

ブロック事業・地区事業・委員会事業の記録及び次年度の活動・PRへ活かしていく。

<開催時期・場所>

29. 5. 9（火） 西部ブロック事務局

<参加人数>

7名

<事業内容>

昨年度の事業内容をまとめ編集・校正作業を行った。印刷後はブロック報告会にて配布、会員へ発送。また各事業・西部ブロックのPR

に活用した。

<事業効果>

活動状況が写真入りで解り易くなり記録の保存にも役立った。またブロック各事業にて資料として活用した。

## イ. 取材活動

<事業目的・趣旨>

身近なもの(景観・建築物・歴史的な建造物・店舗ファサード・食文化等)地域文化を取り上げ会員の皆様へブログ等を通じ紹介していく。

<開催時期・場所>

29.9.30(土) サーラプラザ佐鳴台

<参加人数>

15名

<事業内容>

賛助会員 中部ガス(株)のご協力をいただき4月にオープンしたばかりの「サーラプラザ佐鳴台施設見学会」を開催 事業主 中部ガス(株)、設計(株)竹下一級建築士事務所、施工(株)鈴木組の担当者より 計画主旨、設計概要、施工時の状況等の説明いただく。各セクション、住まい Labo、併設施設ウインディ(ケーブルTV)撮影・編集室、Welcome ホール、Central Garden、食 Labo の見学及び質疑等を行った。

<事業効果>

取材を通して身近な施設の紹介、情報を会員の皆さんに提供するとともに、会員間、賛助会との交流が図られた。

## 5 まちづくり委員会

### ア. けんちく夜会(第3回)

<事業目的・趣旨>

委員会開催時に、自由なテーマ設定で人々が集う「けんちく夜会」を開催することで、他の委員会や会員以外の方達との交流を図る。

<開催時期・場所>

29.6.3(土) 浜松市鴨江アートセンター

<参加人数>

延べ参加人数 約80名

夜会参加者 60名 会員15名+一般45名

<事業内容>

ポータランドのまちづくりについて考える座談会。ゲスト:寺田隼氏

<事業効果>

都市の規模や周囲の自然環境に共通点の多い、ポータランドと浜松を比較対照しながら考える機会を、様々な立場の人達と共有できた。まちづくり委員会の他、建築士会に所属していない建築士、大学生やその家族、市議員やデザイナー、大学教授と参加者は多種多様。

### イ. けんちく夜会(第4回)

<事業目的・趣旨>

委員会開催時に、自由なテーマ設定で人々が集う「けんちく夜会」を開催することで、他の委員会や会員以外の方達との交流を図る。

<開催時期・場所>

30.2.23(金) 浜松市鴨江アートセンター

<参加人数>

会員10名 一般35名

<事業内容>

「おいしいまちポータランド」

食をテーマにポータランドの暮らしを考える。

<事業効果>

ゲストに、食品製造業の知久屋の知久さん、アニーコーヒーの高橋さんをお招きし、多様な職に就く皆さんが今回も集まった。テーマの枠に捉われることなく、行政組織や地方自治の在り方についても議論を交わすことができた。

### ウ. 伊豆石の蔵 小冊子作成事業

<事業目的・趣旨>

まちづくり委員会できねてから調査を行っている「伊豆石の蔵」を多くの人達に知ってもらう為に、小冊子を製作する事業。本年度は建物の撮影や、取材活動を中心に行う。

<開催時期・場所>

29. 12. 3(土) 磐田市旧掛塚郵便局

30. 3. 6(火) 中野町「まっし蔵」

<参加人数>

会員 6 名 +2 名

<事業内容>

12 月は、国登録有形文化財 旧掛塚郵便局の敷地内にある伊豆石の蔵を撮影。撮影は第 1 回のけんちく夜会にゲストとして参加して下さったカメラマンの内山氏に依頼。撮影と並行して建物所有者である長谷川氏からヒアリングを行う。

3 月の撮影では、中野町に点在する伊豆石の蔵を数棟撮影する。

<事業効果>

撮影した写真を通して、建物の価値を所有者との間で共有することができる。今後の、まちづくり活動にも写真を活用し、多くの人に建物の価値や魅力を伝えていくことができる。

## エ. しずおか町並みゼミ 伊豆石の蔵パネル展示

<事業目的・趣旨>

「しずおか町並みゼミ」は、県内の「まちづくり活動団体が年に一度集まる意見交換会。今回は「伊豆石」をテーマに下田市で開催されるということで、県西部に多数存在する伊豆石の蔵を一般に広く知っていただくために、パネル展示を実施した。

<開催時期・場所>

30. 2. 3(土) 静岡県下田市

<参加人数>

会員 3 名：展示関係

<事業内容>

伊豆石の蔵のパネル展示を開催。

<事業効果>

歴史的建造物の保存再生という面では多くの知見を持つ方が居られる地域での展示。視点の異なる、様々な意見が寄せられた。静岡県の各ブロックを横断するテーマとし

て「伊豆石」が再認識された。

## オ. 「堀部安嗣 建築の鼓動」

講演・上映会／展示会

<事業目的・趣旨>

幼少から高校卒業まで浜松に居られた、浜松所縁の建築家、堀部安嗣氏の仕事を紹介する展示会を開催。会期中には堀部氏自身も参加し、「堀部さんを囲む会」を開き、その知見を共有する。

<開催時期・場所>

30. 3. 15(木) ～3. 18(日)

静岡文化芸術大学

<参加人数>

会員 16 名～ 一般 157 名

<事業内容>

以前、TOTO のギャラリー間で開催された展示会の内容をベースに、近作を追加した展示内容。自主制作された短編映像も上映された。16 日には映画上映の後、堀部さんの講演会を開催。その後、「堀部さんを囲む会」に移行し、飲食を交えフリーディスカッションを行った。

<事業効果>

今回の事業は、まちづくり委員会と青年委員会の有志から、特別委員会を組織して事業を実施した。また、静岡文化芸術大学の共催も得て、会期中の運営等では学生との協働も図られた。複数の委員会を横断する形で運営組織を編成し、事業を進めることは、会の組織の活性化という意味でも、多くの意味があったと思われる。会期中、建築士会の会員外の建築士の姿も多数見受けられた。

## カ. その他

・磐田市でまちづくり活動を始めた鈴木光男氏と、磐田一中の空き教室利用について検討会を行った。(会員 4 名参加)



・NHK Eテレ コノマチリサーチの取材対応。  
浜松でのまちづくり活動、まちづくり委員会による歴史的建造物の調査保存活動が紹介された。

## 西部ブロック地区事業

### (1) 小笠地区

#### ・地区会

＜事業目的・趣旨＞

会員相互の交流

＜開催時期・場所＞

第1回 29. 6. 16 (金) 掛川商工会議所

第2回 29. 12. 15 (金) 掛川商工会議所

第3回 30. 3. 16 (金) 掛川商工会議所

＜参加人数＞

第1回 15名

第2回 11名

第3回 14名

＜事業内容＞

第1回 平成29年度ブロック事業予定

第2回 ブロック事業、地区事業の報告

第3回 ブロック事業の報告、30年度事業・  
予算報告

＜事業の効果＞

会員相互の情報交換が図られた。

#### ・講習会

＜事業目的・趣旨＞

建築士としての自己研鑽のための講習会

＜開催時期・場所＞

第1回 29. 6. 16 (金) 掛川商工会議所

第2回 29. 12. 15 (金) 掛川商工会議所

第3回 30. 3. 16 (金) 掛川商工会議所

＜参加人数＞

第1回 19名

第2回 15名

第3回 14名

＜事業内容＞

第1回 ①「ジモト行政との意見交換会」

講師：掛川、菊川、御前崎の各市担  
当者

②「省エネ法について」「建築基準法  
関係の動向」

講師：(一財)静岡県建築住宅まち  
づくりセンター(袋井) 二俣氏

第2回 ①「許認可制度等の説明」

講師：袋井土木事務所建築住宅課  
宮野氏

②「建築基準法関係の動向」

講師：(一財)静岡県建築住宅まち  
づくりセンター(袋井) 二俣氏

第3回 ①「断熱材施工注意点と壁内可視化(サ  
ーモカメラ)について」

講師：グラウンドワークス  
金井氏

②「建築基準法をめぐる最近の動向」

講師：(一財)静岡県建築住宅まち  
づくりセンター(袋井) 二俣氏

＜事業の効果＞

建築士として必要な知識の習得ができた。

#### ・ジモト行政との意見交換会

＜事業目的・趣旨＞

地元の行政と地元の建築士との情報交換

＜開催時期・場所＞

29. 6. 16 (金) 掛川商工会議所

＜参加人数＞

28名(3市の都市建設課より7名含む)

＜事業内容＞

地元2市(掛川市、菊川市、御前崎市)の  
都市建設課・都市政策課の担当者との意見交  
換、及び担当者による各市の平成29年度の制  
度・補助金等の説明

＜事業効果＞

地元行政担当者との、意思疎通・情報交換  
が図られた。

#### ・移動パネル展・無料建築相談

＜事業目的・趣旨＞

地元根付いた建築士の仕事を、地元の住  
民に知ってもらう為に、パネル展「ジモトの  
シゴト展」を開催

＜開催時期・場所＞

パネル展 IN 掛川

29. 7. 5(水)～7. 23(日)掛川中央図書館

パネル展 IN 御前崎

29. 8. 15(火)～8. 26(土)御前崎市立図書館

パネル展 IN 大須賀  
29. 8. 27(日)～9. 19(火)掛川市大須賀図書館  
パネル展 IN 大東  
29. 11. 28(火)～12. 13(水)掛川市大東図書館  
パネル展 IN 菊川  
30. 2. 1 (木) ～2. 28 (水) 戸田書店リブレ  
(菊川市) ギャラリー

<参加人数>

パネル展示者数 50名 (5回合計)

<事業内容>

地元の建築士会会員の建築士による住宅・建築の作品パネル展。同時に掛川・御前崎・菊川の期間中計 9 日間の無料建築相談を行った。

<事業効果>

地元の市民に、建築士を身近に感じてもらうとともに、建築士会の PR に繋がった。

## (2) 中遠地区

### ・地区会

<事業目的・趣旨>

会員相互の交流事業

<開催時期・場所>

第1回 29. 6. 22 (木) 袋井駅前自治会館  
第2回 29. 12. 15 (金) 掛川商工会議所  
第3回 30. 3. 23 (金) ワークピア磐田

<参加人数>

第1回 16名  
第2回 6名  
第3回 15名

<事業内容>

第1回 平成29年度ブロック事業予定について  
第2回 ブロック事業、地区事業の報告及び参加依頼  
第3回 ブロック事業の報告、29年度の事業、予算報告、次年度役員について

<事業の効果>

会の円滑な運営に資すことができた。

### ・講習会

<事業目的・趣旨>

建築士としての新情報の取得、自己研鑽のための講習会

<開催時期・場所>

第1回 29. 6. 22 (木) 袋井駅前自治会館

第2回 29. 12. 15 (金) 掛川商工会議所  
第3回 30. 3. 23 (金) ワークピア磐田

<参加者人数>

第1回 22名  
第2回 7名  
第3回 18名

<事業内容>

第1回①住宅の各種補助金制度について  
講師：(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター職員  
②NPO 法人静岡県災害支援隊の活動紹介

第2回 小笠地区と合同で開催

第3回 住宅建築確認の新情報

講師：(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター職員

<事業の効果>

建築士として必要な新しい知識の習得ができた。

### ・無料建築相談

<事業目的・趣旨>

一般市民向けに気軽に建築相談できる場所を提供

<開催時期・場所>

予約制で毎週日曜日 磐田市総合健康福祉会館にて開催

今年度は実施報告なし

予約制の定例建築無料相談とは別に磐田市建築住宅課と共催でわが家の耐震診断実施者宅を訪問し補強計画を紹介

<相談員数>

各回2名

<事業の効果>

市民の安心・安全な住環境に資すことができた。

## (3) 浜松地区

### ・無料建築相談

<事業目的・趣旨>

一般市民向けに気軽に建築相談できる場所を提供

<開催時期・場所>

予約制で毎月第2、4土曜日に西部ブロック

事務局にて開催した。

今年度は浜松地区で1回開催、浜北地区で1回開催した。

29.7.22(土)

<相談員数>

各回2名

<事業の効果>

市民の安心・安全な生活に資することができた。

・空き家ワンストップ相談会

<事業目的・趣旨>

浜松市市民生活課より依頼された事業への参加

<開催時期・場所>

29.9.9(土)浜松市県居協働センター

30.1.20(土)浜松市役所内

<相談員数>

29.9.9(土)浜松市県居協働センター 1名

30.1.20(土)浜松市役所内 2名

<事業の効果>

市民の安心・安全な生活に資することができた。

#### IV 事業参画団体関係

- ア. (公社)日本建築士会連合会
- イ. (公社)建築技術教育普及センター
- ウ. (一財)日本建築防災協会
- エ. 建築士会東海北陸ブロック会
- オ. (一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター
- カ. (一社)静岡県建設産業団体連合会
- キ. 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会
- ク. 静岡県住宅振興協議会
- ケ. 美しいしずおか景観推進協議会
- コ. 静岡県建築文化研究会
- サ. 中部建築賞協議会
- シ. 静岡県防犯まちづくり協議会
- ス. 静岡県地球温暖化防止県民会議
- セ. 静岡県男女共同参画推進会議
- ソ. 静岡県東海地震対策士業連絡会
- カ. 静岡県不動産流通活性化協議会
- キ. 静岡県地域木造住宅生産体制強化地域協議会
- ク. ふじのくに木使い推進会議 他